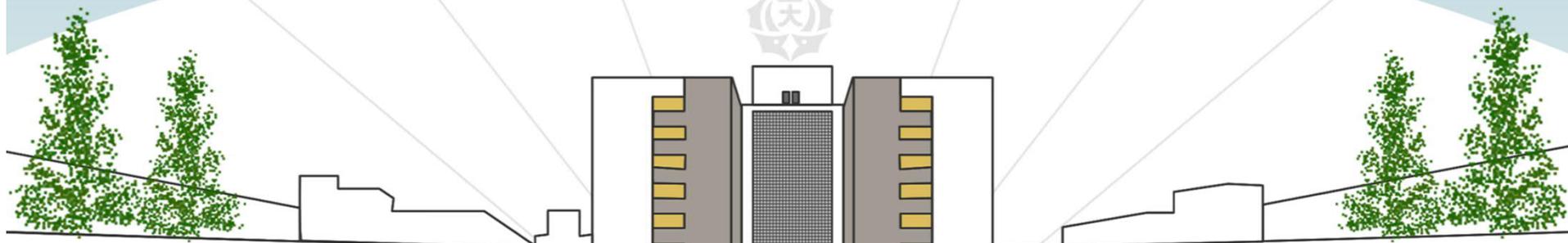


# 2018年度 名古屋工業大学 教育研究活動報告会

◆◆◆Nagoya Institute of Technology◆◆◆ものづくり◆ひとづくり◆未来づくり◆Nagoya Institute of Technology◆◆◆



14521529

15641642

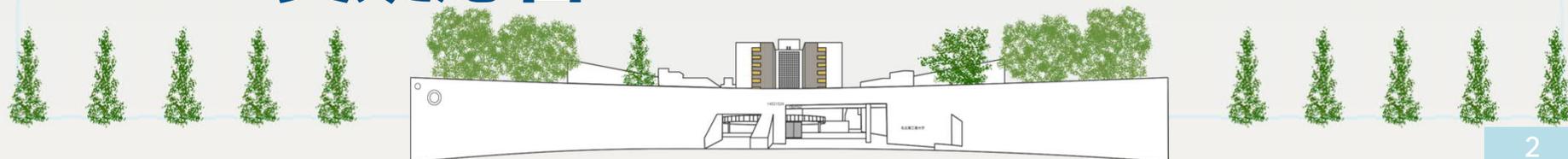
名古屋工業大学

名古屋工業大学



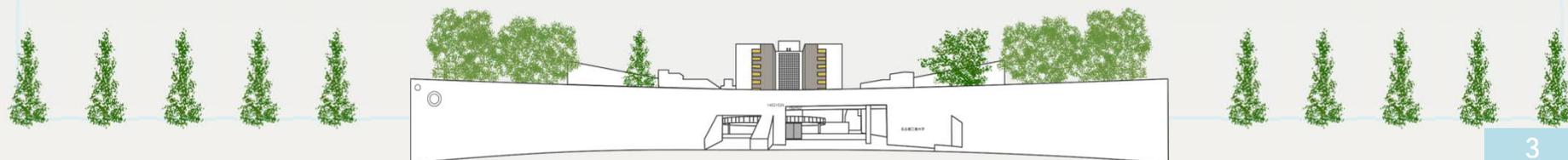
# 本日の内容

- **大学改革・教育研究活動報告**
- **2017事業年度業務・決算報告**
  - 1. 業務実績評価結果**
  - 2. 予算**
  - 3. 財務状況**
- **質疑応答**





# 大学改革・教育研究活動報告





# 名古屋工業大学のビジョン — 中京地域産業界との融合 —

## 名古屋工業大学の「ビジョン」と「ビジョン」実現のための「3つの戦略」

### 中京地域産業界との融合

国立大学に先駆けて設置した「産学官教育連携会議」の声を踏まえ、地域の期待に応える工学人材を育成・輩出して地域産業界の国際競争力強化や持続的な発展に貢献する。一方、研究面では、化学・材料及び情報科学分野の世界トップレベルの研究実績を活かして、これらが直結するエネルギー、ヘルスケア等の産業界におけるイノベーション創出に貢献する。

「実践的工学エリート」育成

#### 戦略1 名工大版理工系人材育成戦略の推進

～地域の要望を反映したグローバル教育とイノベティブ人材の育成～

中京地域産業界が求める新たな人材育成を進めるため、組織改組及び創造工学教育センターによる教育改革の推進、海外インターンシップ、産学連携によるイノベティブインターンシップの構築を推進。

#### ✓ 中京地域産業界との融合により、新たな人材を育成

- ・学部・大学院を再編（学問分野や地域産業界からの要望を踏まえ、一貫した教育体系を確立）
- ・6年一貫「創造工学教育課程」を設置
- ・創造工学教育推進センターによる産学連携教育、国際連携教育を推進

#### ✓ 産学官連携による共学プログラムを構築

- ・産学官の人材が総合的かつ相補的に教育しあう、新たな実践的教育の場を具現化

#### ✓ 高大接続入試改革の先進的な取組を実施

- ・「創造工学教育課程」の入学選抜方法を基に、多面的・総合的な評価手法を確立

「工学のイノベーションハブ」構築

#### 戦略2 研究機能強化による 先進的・独創的な研究拠点の構築

～地域産業界のニーズにこたえる研究のグローバル化とイノベーションの創出～

中京地域産業界が求めるイノベーション創出に繋がる実践的研究を一層推進するため、化学関連分野及び情報科学関連分野などの世界トップレベルの先進的研究を組織的・横断的並びに国際的に推進。

#### ✓ フロンティア研究院による

##### 化学・材料科学及び情報科学の強化

- ・研究ユニット招致（材料科学、情報分野を招致）
- ・化学・材料、情報分野を両輪に、全学研究分野を融合

#### ✓ 若手研究者在外研究制度の充実

#### ✓ プロジェクト研究の推進

- ・世界レベルの独創的な学術研究を、独自の視点と豊かな発想に基づき実施
- ・実践的研究の実施により、大学発の新技術の創生を促進

#### ✓ 産業界との連携強化

- ・産学官金連携機構を中心に、共同研究及び大型研究設備の共同利用を推進

ガバナンス強化・マネジメント改革

#### 戦略3 学長のリーダーシップによる 学内ガバナンスの強化

～地域産業界が望むイノベーションリーダーの育成と組織・環境整備～

中京地域産業界が望むイノベーションリーダーの育成を、根拠から支えるための組織・教育研究環境の整備について、学長の強力なリーダーシップにより実行。

#### ✓ 中京地域産業界の 国際競争力強化のための組織改組

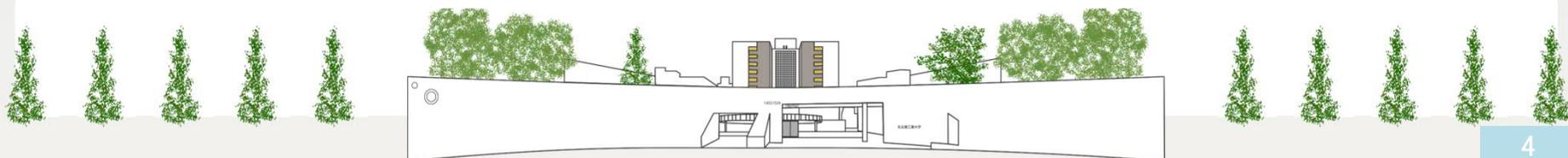
- ・地域産業界の求める人材養成のため、博士後期課程の再編を実施

#### ✓ イノベーション・リーダー育成のための体制整備

- ・教員組織を整備し、グローバル教育研究改革を実行

#### ✓ ダイバーシティ環境の整備

- ・多様な人材が協働するキャンパスをめざし、国際的なダイバーシティ環境の整備を推進





## 名古屋工業大学の学生数、教職員数

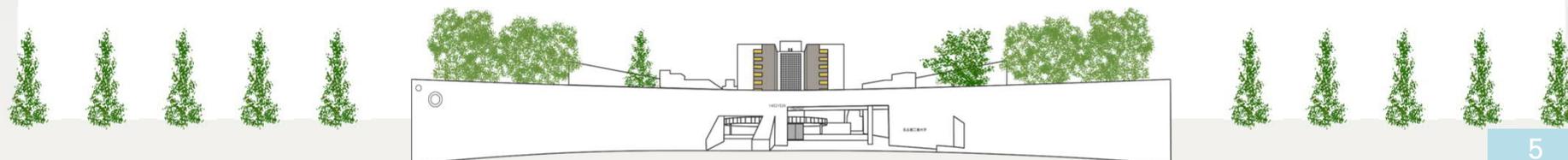
(2018年5月1日現在)

### 学生数

工学部 (第一部)	工学部 (第二部)	大学院工学研究科 博士前期課程	大学院工学研究科 博士後期課程	合計
3,976人	115人	1,500人	159人	5,750人

### 教職員数

教員	事務職員	技術系職員	医療職員	合計
340人	122人	50人	2人	514人





# 教育組織改革の実施 — 地域産業界の求める人材養成 —

## 名古屋工業大学 2016年度教育組織改革

### 学部

生命・応用化学科

物理工学科

電気・機械工学科

情報工学科

社会工学科

### 博士前期 (※)

生命・応用化学専攻

物理工学専攻

電気・機械工学専攻

情報工学専攻

社会工学専攻

5 専攻は、  
博士後期を有する

- ・ 創造工学教育課程は現在、学部段階のみ設置。
- ・ 他に、博士後期課程に共同ナノメディシン化学専攻及び国際連携情報学専攻を有する。

創造工学教育課程 (6年一貫創造工学教育課程)

※ 博士前期課程については、2020年度に改組予定。



## 教育組織改革の実施 — 地域産業界の求める人材養成 —

### 6年一貫創造課程 創造工学教育課程

産業界との議論によって、

価値創造型の人材を育成する創造工学教育課程を開始。

- 学部・博士前期を接続した課程として設置。
- 学生が自律的に横断的学習を進め、価値創造型人材を育成。
- ルーブリックを活用した達成度評価。
- 6年を活用した実践経験重視の教育を実施。
- 少人数教育、手厚い学生指導を実施。
- 工学デザイン科目をおき、企業型教員とともに教育。  
(実践問題解決、デザイン理論、PBL演習等)
- 研究インターンシップを通じての価値創造的人材の教育。



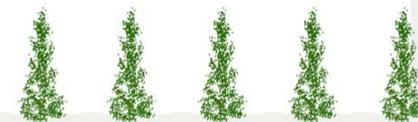
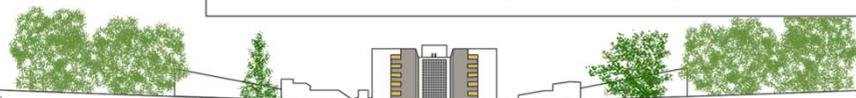


## 名古屋工業大学・ウーロンゴン大学 国際連携情報専攻の開設

2018年3月ジョイント・ディグリー・プログラムによる国際連携専攻を設置。  
(工学系大学院（博士後期課程）で、日本初。)



世界をリードし新規研究分野を開拓できる研究者、  
新規事業の開拓を先導するグローバルリーダーとしての  
実践的研究者・技術者の養成を目指す。





# 学生の就職状況 - 2017年度就職等状況 -

(2018年5月1日現在)

		卒業・修了者数 (人)	進学者数 (人)	進学率 (%)	求職者数 (人)	就職者数 (人)	就職率 (%)
第一部	男	785	593	75.5	179	176	98.3
	女	142	72	50.7	69	69	100
	計	927	665	71.7	248	245	98.8
第二部	男	22	5	22.7	17	16	94.1
	女	1	0	0	1	1	100
	計	23	5	21.7	18	17	94.4
博士前期	男	602	11	1.8	590	587	99.5
	女	102	4	3.9	96	95	99.0
	計	704	15	2.1	686	682	99.4
博士後期	男	25	-	-	21	20	95.2
	女	9	-	-	6	5	83.3
	計	34	-	-	27	25	92.6
計	男	1434	609	42.5	807	799	99.0
	女	254	76	29.9	172	170	98.8
	計	1688	685	40.6	979	969	99.0



# 学生の就職状況 - 新聞報道等 -

価値ある大学2019年版 ~就職力ランキング~ (日経キャリアマガジン)  
「大学の就職力徹底調査」内、「大学の取り組みランキング」より抜粋

## 就職支援に 熱心に取り組んでいる

**名古屋工業大学**  
一般的な学内セミナーだけでなく、複数社で行うイベントの企画もあり、非常に充実感がある。(機械)  
キャリアセンターと各専攻・学科が、就職に関して連携が強い印象を受ける。(機械)

順位	分類	大学名	得点
1位	国	名古屋工業大学	8.87
2位	私	金沢工業大学	8.85
3位	私	東北工業大学	8.57
4位	私	日本工業大学	8.47
5位	私	名古屋外国語大学	8.46
6位	私	東京国際大学	8.29
7位	国	長岡技術科学大学	8.27
8位	私	亜細亜大学	8.25
9位	私	九州産業大学	8.24
10位	国	弘前大学	8.20

### 金沢工業大学

学校訪問をした際、就職担当教授とキャリアセンターとの連携ができているように感じた。キャリアセンターが学生一人ひとりの状況をよく把握している。(電気機器)

### 日本工業大学

学内説明会に毎年参加しているが、熱心に就職支援が行われている様子を目にする。(輸送用機器)

### 長岡技術科学大学

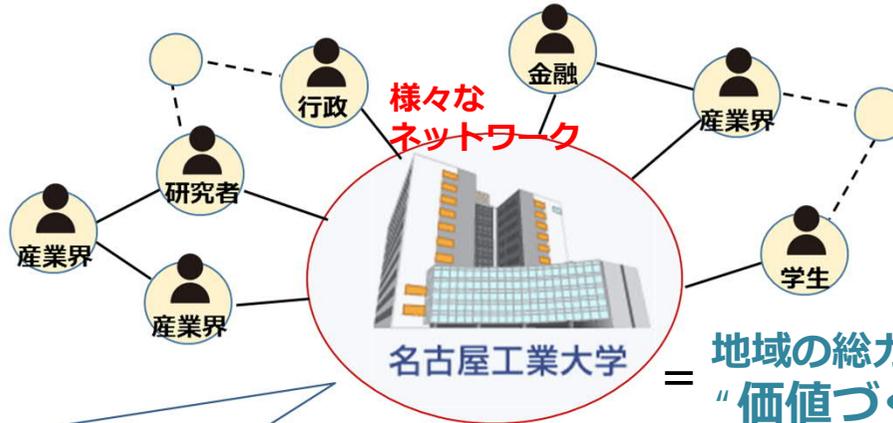
なかなか就職の決まらない学生に対して、大学側が熱心にフォローしている。(電気機器)

### 九州産業大学

資格取得への取り組みや就職支援プログラムが他大学より充実していると感じる

# 研究機能強化による 先端的・独創的な研究拠点の構築

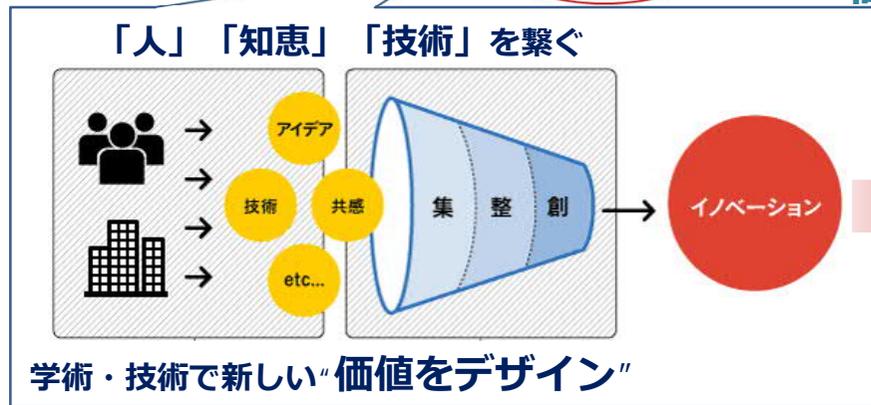
名工大が目指すあり方 **－工学のイノベーションハブ－**



そうだ！鶴舞に行こう!!



地域の総力を結集して、  
“価値づくり”を推進する拠点



新しい“価値”を創造し、社会へ“発信”する拠点を目指します！





# フロンティア研究院による教育研究機能強化

## 産学官で活躍するグローバル研究リーダー

世界で戦える研究力  
広い視野 高いオリジナリティ

## イノベーション原動力の創出

知能技術  
エネルギー ヘルスケア

地域・産業の発展に貢献

システム化

電気・機械工学

研究実績

教育組織  
国際交流組織

新素材/デバイス創出・基礎学理の究明

情報・価値創成原理の究明

### 材料科学フロンティア研究院

研究分野: グリーン、エネルギー、ヘルスケア

### 情報科学フロンティア研究院

研究分野: ライフサポート、メディア情報  
ソーシャルコンピューティング

フロンティア

社会的価値

社会工学

研究実績

## 国際的産学官連携を基軸とする、横断・融合型教育研究組織

本学の高い研究実績を基礎に 世界で戦える人材を養成

### ◇各研究院の体制◇

院長  
(副院長)

人材育成

博士課程教育プログラムの推進

グローバル研究リーダー教育

共同研究を教育の場とする体制作り

国内外研究機関への若手教員、学生研究派遣

研究推進

イノベーション創出につなぐ新分野の開拓・分野融合

国際的教育研究ユニット

国内外のプロジェクト研究

若手教員の研究力強化

研究実績

研究実績

生命・応用化学

物理工学

情報工学



# フロンティア研究院の運営（1）

- 海外有名大学から、教育研究ユニットを招致。  
国際共同研究の推進、学生教育の実施、グローバル研究ネットワークを構築。

海外の大学・研究機関から、教育研究ユニットの招へいを実施

2016年度	20ユニット	24名
2017年度	24ユニット	28名

## 英語による特別講義

招へい研究者による講義を実施

2016年度	20件
2017年度	46件

### ヨーロッパ地域

<主な招致機関>

- ・オックスフォード大学（英国）
- ・インペリアル・カレッジロンドン（英国）
- ・エアランゲン・ニュルンベルク大学（ドイツ）
- ・フランス国立科学研究センター（フランス）

### 北米地域

<主な招致機関>

- ・マサチューセッツ工科大学（米国）
- ・カーネギーメロン大学（米国）

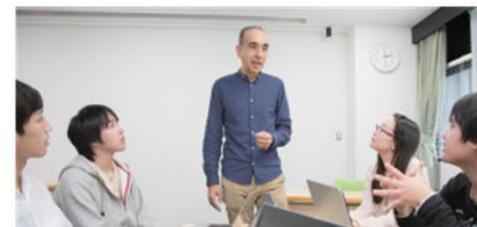
### オセアニア地域

<主な招致機関>

- ・ウーロンゴン大学（オーストラリア）

ジョイント・ディグリープログラム 2018年開始

- ・シドニー工科大学（オーストラリア）



## 国内、国際シンポジウムの開催

2016年度	3件
2017年度	2件

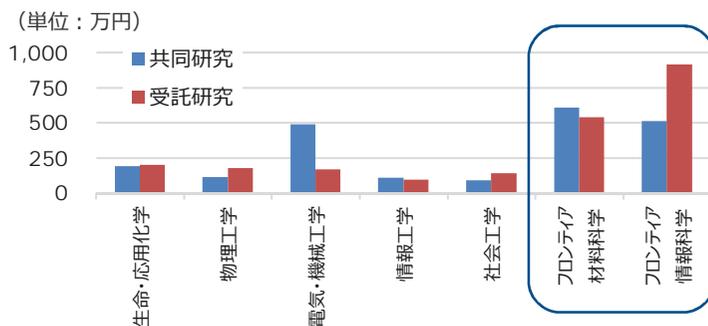


## フロンティア研究院の運営（2）

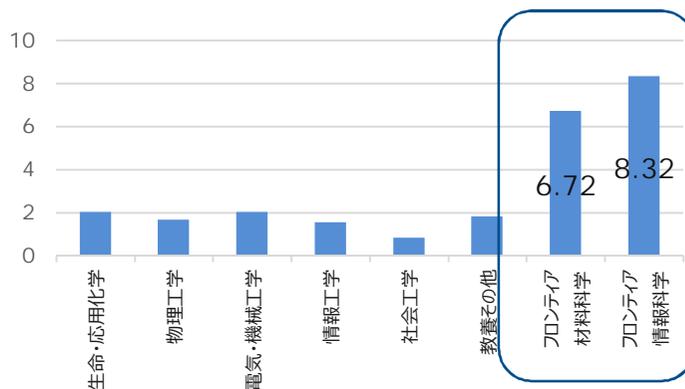
- ・イノベーション創出につなぐ研究プロジェクトを推進。

将来的に本学をけん引することが期待できる  
高い研究力を持つ多様な専門分野の教員で構成

1人当たり共同・受託研究費受入額（2017年度）



1人当たり論文数（2013-2017年度平均値）

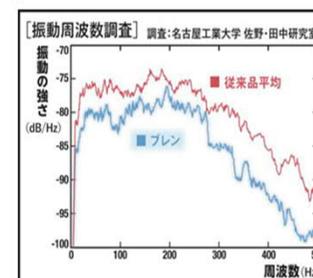


## 研究成果の社会への還元

“ストレスフリー”な書き心地を実現。  
筆記時に生じる振動を制御した、これまでにない新しいボールペン  
『ブレン』12月12日（水）発売



筆記振動の検証データ



「振動周波数調査」(名古屋工業大学 佐野・田中研究室)

筆記時に生じる振動周波数を、従来品とブレンで比較し、名古屋工業大学電気・機械工学専攻 機械工学分野 佐野明人教授・田中由浩准教授と共同で調査を行いました。  
ブレンは、測定したすべての周波数帯で、筆記中の振動が最も制御されていることがわかりました。

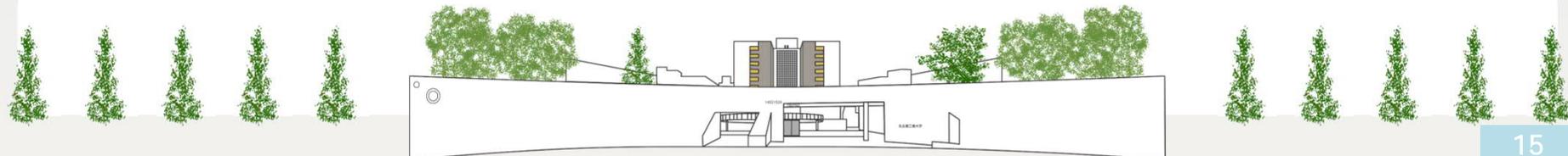
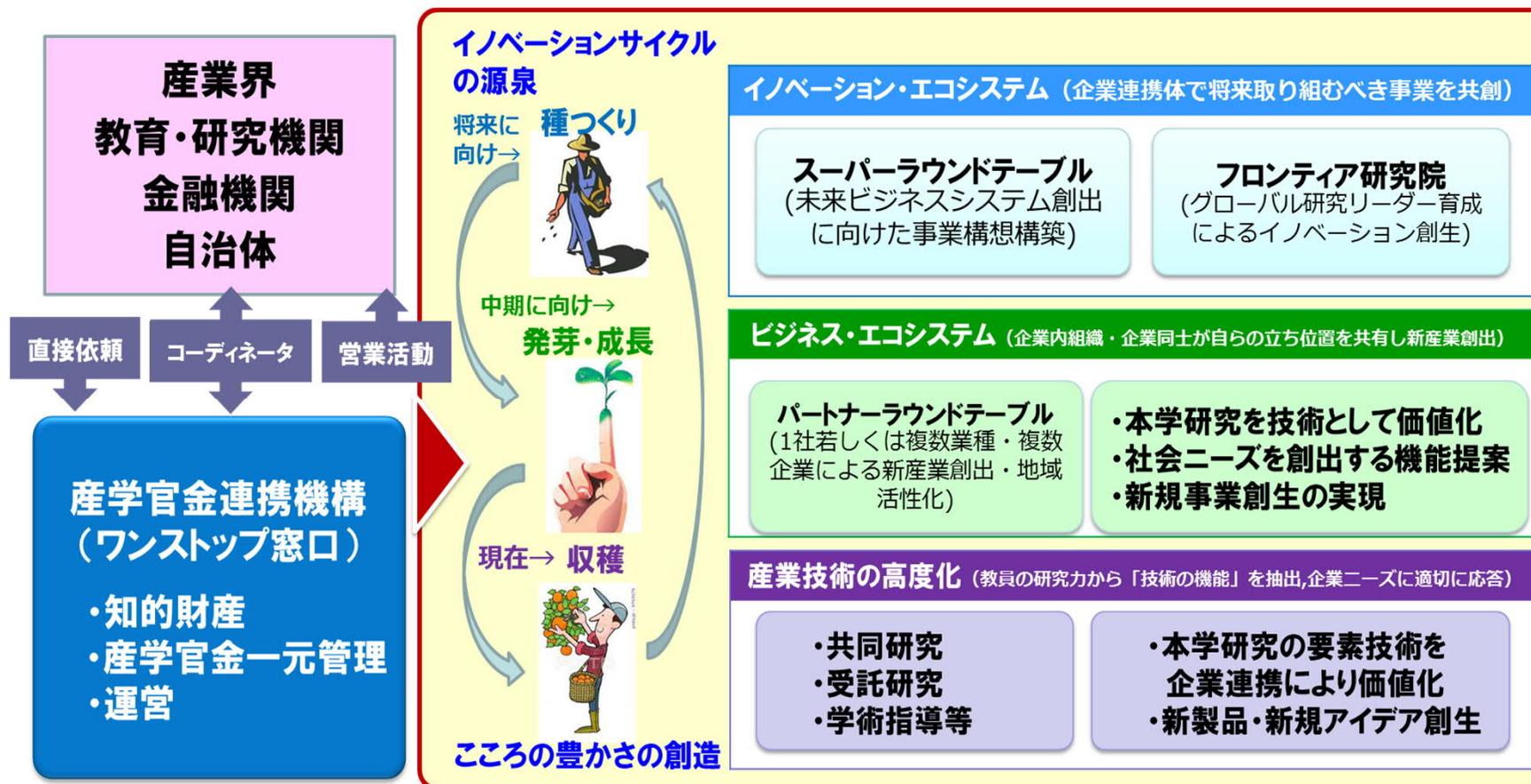
2018/11/8 ZEBRA株式会社 広報室

筆記振動を制御したストレスフリーな書き心地「ブレン」

<https://www.zebra.co.jp/press/news/2018/1108.html> (2019/3/12)



# 産業界との連携強化 – 産学官金の連携構造 –





# 民間との共同研究

民間企業との共同研究に伴う  
研究者 1 人当たりの研究費受入額

## 第 2 位

(国立大学86大学中：1位)

(単位：千円)

No.	機関名	1人あたり 受入額	区分	前年度 No.
1	光産業創成大学院大学	3,264	私	1
2	名古屋工業大学	1,571		3
3	豊橋技術科学大学	1,547		4
4	東京工業大学	1,465		5
5	豊田工業大学	1,431	私	6
6	大阪大学	1,428		12
7	東京農工大学	1,151		14
8	長岡技術科学大学	1,085		17
9	東京大学	1,082		11
10	情報セキュリティ大学院大学	1,012	私	-
11	京都大学	963		8
12	九州工業大学	901		10
13	名古屋大学	871		21
14	東北大学	860		16

※ 文部科学省「平成29年度大学等における産学連携等  
実施状況について」より抜粋

## ダイバーシティ環境の整備

### 名古屋工業大学ダイバーシティ推進宣言

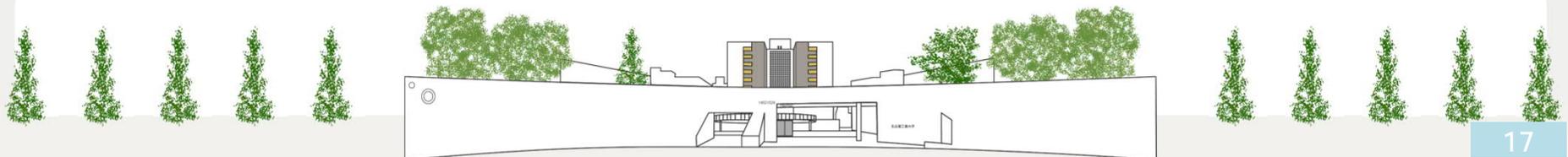
名古屋工業大学は、「ものづくりひとづくり 未来づくり」という教育理念を目標に掲げ、グローバルに活躍する「実践的工学エリートの養成」をめざしています。（中略）

本学は、ダイバーシティに基づくオープンイノベーションの実現に貢献するため、以下の基本方針を掲げて積極的に活動することを宣言いたします。

#### 基本方針：

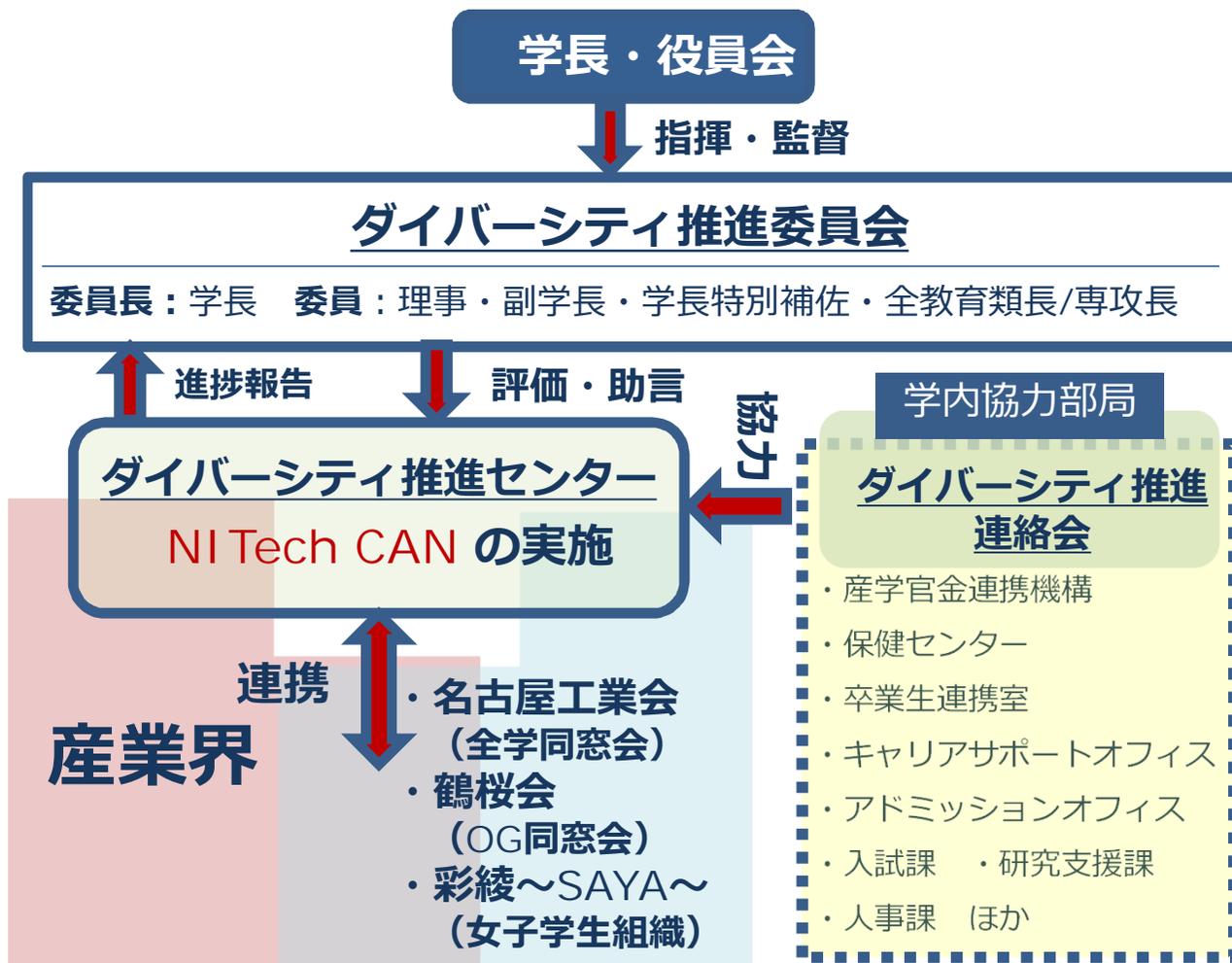
1. ダイバーシティ推進の視点に立った教育・研究環境の整備を行う
2. ダイバーシティ推進とその活用の観点から、全構成員の労働環境の整備を行う
3. 〈ダイバーシティ・アンド・インクルージョン〉の実現に向けた意識変革に努める

(2017.11.22)





# ダイバーシティ推進センター による女性研究リーダーの育成



OG同窓会



女子学生組織



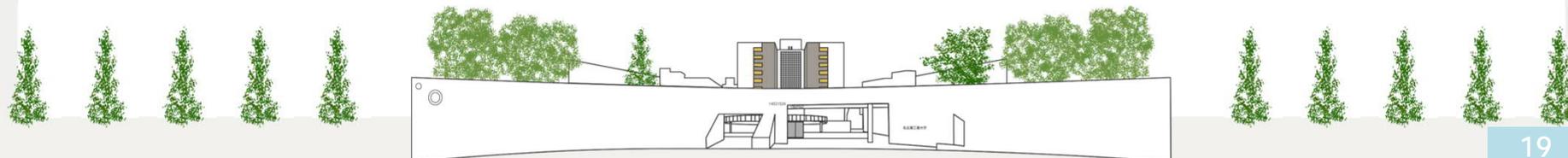


## 国際学生寮「NI Tech Cosmo Village」の開設

建築構造：地上3階  
居室タイプ：シェア型（1ユニット8名）  
収容人数等：208人（26ユニット）



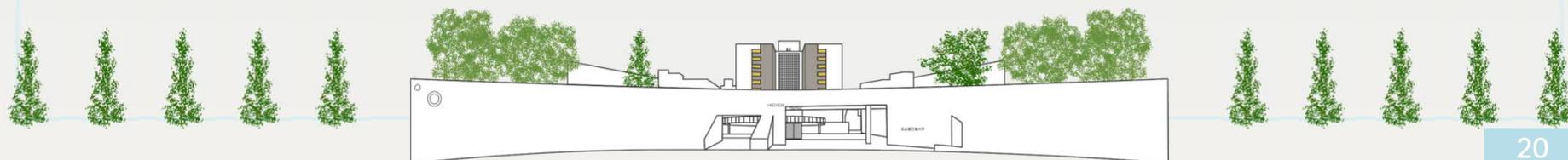
留学生・日本人学生が居住し、  
共同生活を通じて国際交流を推進する場となっています。





# 2017事業年度業務・決算報告

## 1. 業務実績評価結果





## 2016年度業務実績評価結果

項目	本学の評価結果	全法人の評価結果 (90法人)
(1) 業務運営の改善 及び効率化	4 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 0法人 (0%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 3法人 (3%) 4 : 順調に進んでいる 79法人 (88%) 3 : おおむね順調に進んで 7法人 (8%) 2 : やや遅れている 1法人 (1%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(2) 財務内容の改善	4 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 3法人 (3%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 0法人 (0%) 4 : 順調に進んでいる 87法人 (97%) 3 : おおむね順調に進んで 0法人 (0%) 2 : やや遅れている 0法人 (0%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(3) 自己点検・評価 及び情報提供	4 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 0法人 (0%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 5法人 (6%) 4 : 順調に進んでいる 85法人 (94%) 3 : おおむね順調に進んで 0法人 (0%) 2 : やや遅れている 0法人 (0%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(4) その他業務運営に 関する重要目標	4 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 1法人 (1%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 3法人 (3%) 4 : 順調に進んでいる 78法人 (87%) 3 : おおむね順調に進んで 7法人 (8%) 2 : やや遅れている 1法人 (1%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)



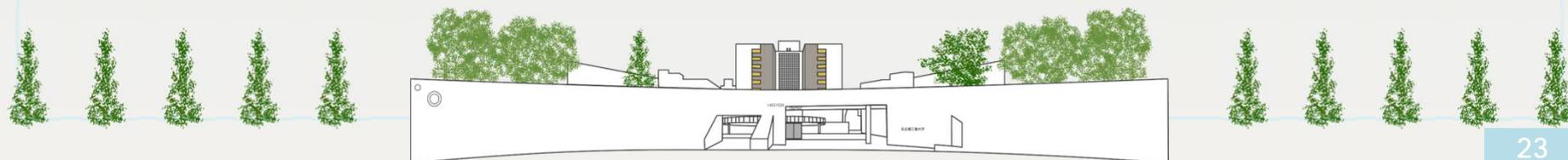
## 2017年度業務実績評価結果

項目	本学の評価結果	全法人の評価結果 (90法人)
(1) 業務運営の改善 及び効率化	<b>4</b> 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 2法人 (2%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 3法人 (4%) <b>4 : 順調に進んでいる 81法人 (90%)</b> 3 : おおむね順調に進んで 2法人 (2%) 2 : やや遅れている 2法人 (2%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(2) 財務内容の改善	<b>4</b> 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 1法人 (1%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 7法人 (8%) <b>4 : 順調に進んでいる 81法人 (90%)</b> 3 : おおむね順調に進んで 1法人 (1%) 2 : やや遅れている 0法人 (0%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(3) 自己点検・評価 及び情報提供	<b>4</b> 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 0法人 (0%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 0法人 (0%) <b>4 : 順調に進んでいる 90法人 (100%)</b> 3 : おおむね順調に進んで 0法人 (0%) 2 : やや遅れている 0法人 (0%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)
(4) その他業務運営に 関する重要目標	<b>4</b> 順調に進んでいる	6 : 特筆すべき進捗状況にある 0法人 (0%) 5 : 順調に進んでおり一定の注目事項がある 1法人 (1%) <b>4 : 順調に進んでいる 89法人 (99%)</b> 3 : おおむね順調に進んで 0法人 (0%) 2 : やや遅れている 0法人 (0%) 1 : 重大な改善事項がある 0法人 (0%)

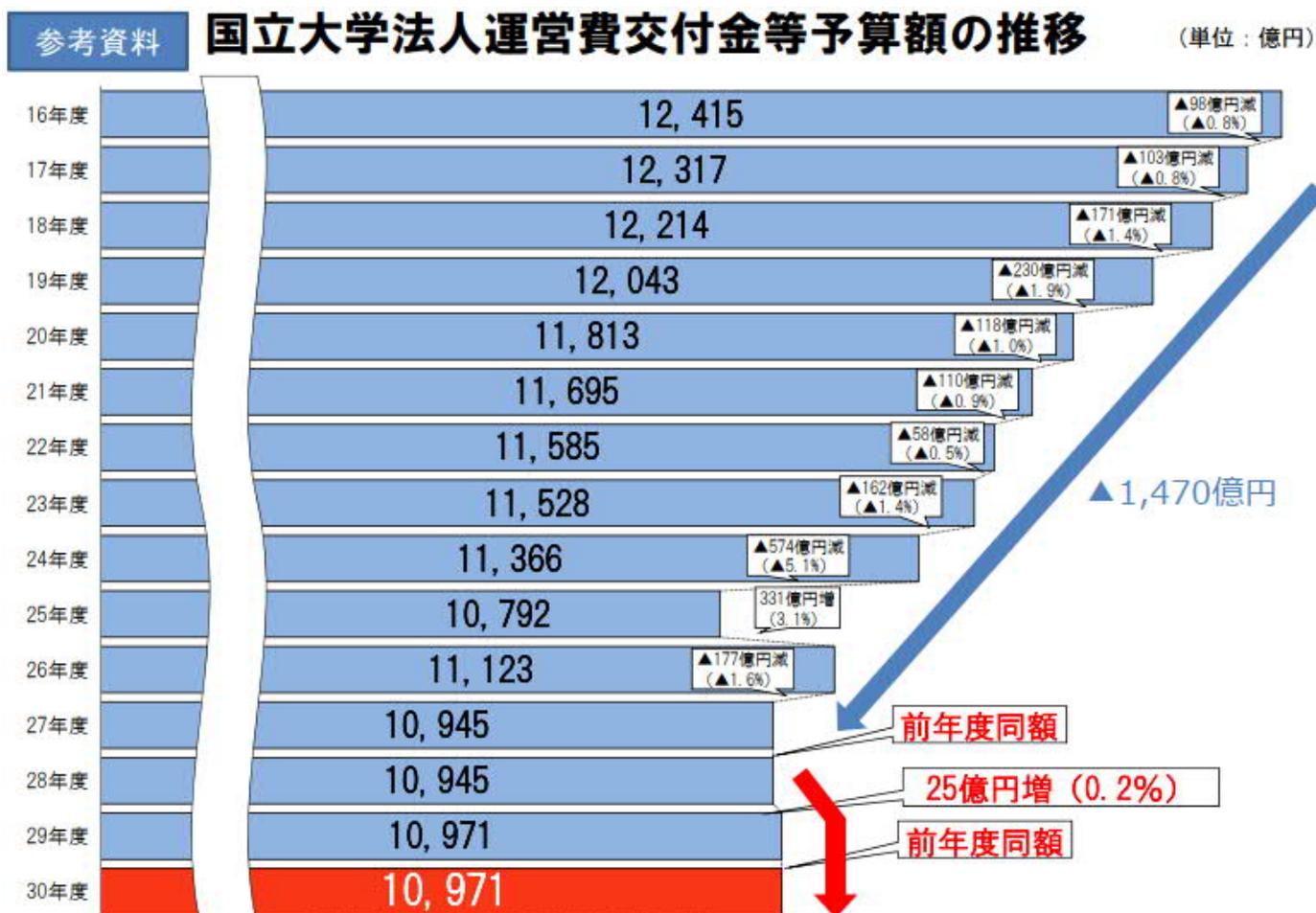


# 2017事業年度業務・決算報告

## 2. 予算



# 国立大学法人運営費交付金予算額の推移

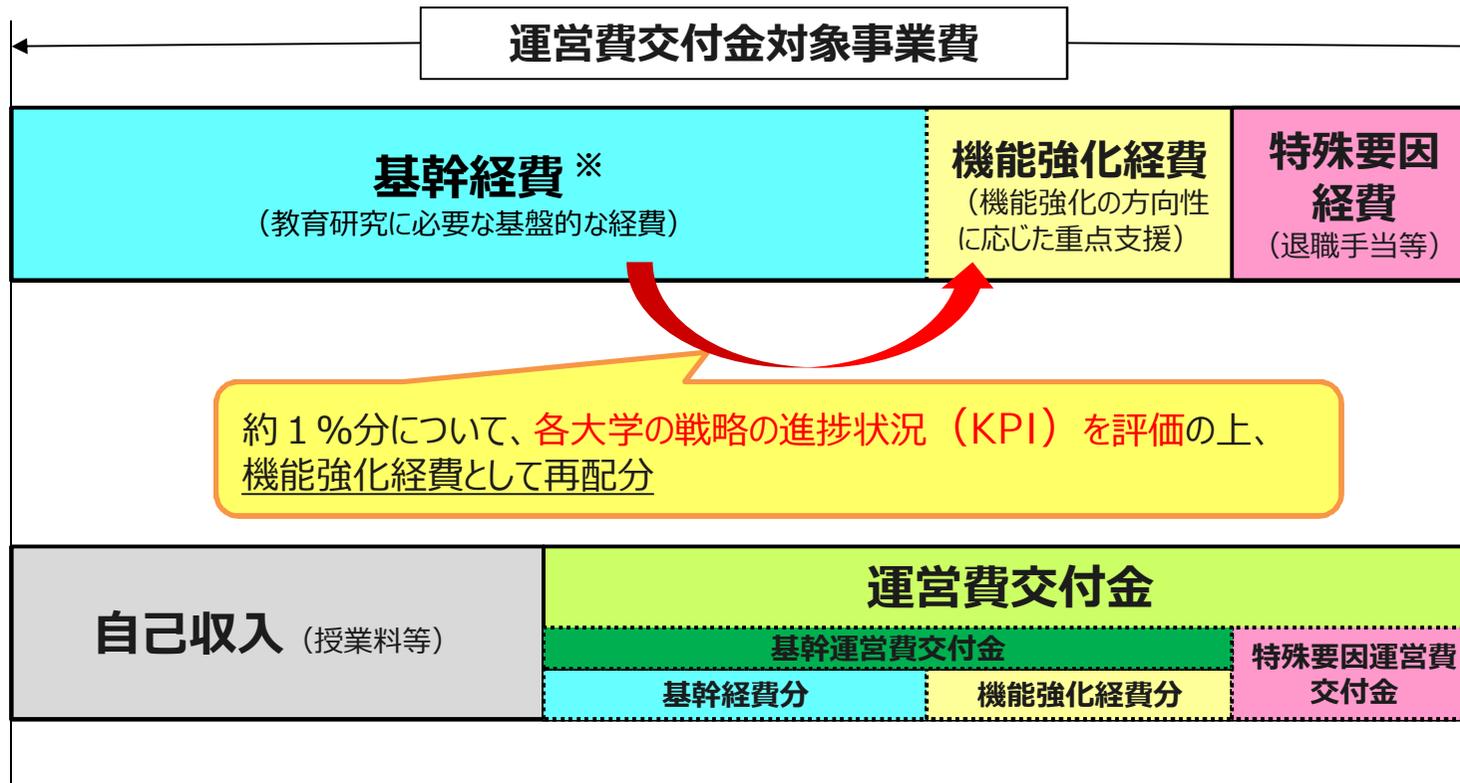


※平成29年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費 (45億円) を含む。  
 ※平成30年度予算額には、国立大学法人機能強化促進費 (89億円) を含む。

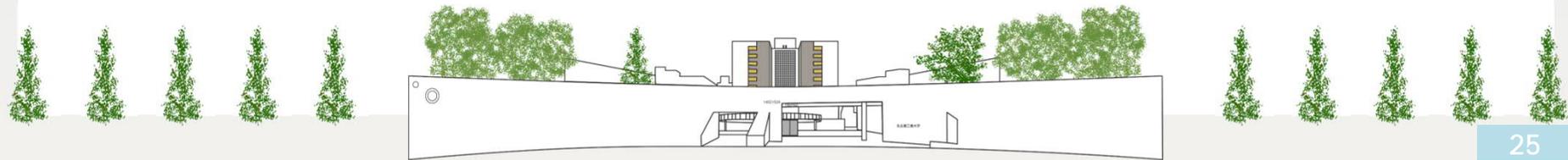


# 運営費交付金の算定の仕組み

<第3期中期目標期間（2016年度～）>



約1%分について、各大学の戦略の進捗状況（KPI）を評価の上、機能強化経費として再配分





# 国立大学法人運営費交付金予算額の概要 (90法人)

(収入)		(支出)	
	<b>授業料等</b> 3,642億円 (3,650億円)		
【▲8億円減】			
	<b>雑収入</b> 278億円 (272億円)		
【6億円増】			
	<b>運営費交付金</b> 10,925億円 (10,945億円)	<b>基幹経費</b> 13,012億円 (13,036億円)	【▲24億円減】
	(基幹運営費交付金 10,026億円 - 9,952億円)		(基幹経費化 53億円)
(国立大学法人 運営費交付金等 10,970億円 (10,945億円) 【25億円増】)			
	<b>特殊要因運営費交付金</b> 920億円 - 973億円 <small>国立大学法人機能強化促進費 45億円 (新規)</small>	<b>機能強化経費</b> 861億円 (912億円) <small>国立大学法人機能強化促進費 45億円 (新規)</small>	【▲51億円減】 【45億円増】
		<b>特殊要因経費</b> 973億円 (920億円)	【53億円増】
	<b>附属病院収入</b> 10,409億円 (10,045億円)	<b>附属病院経費</b> 10,409億円 (10,045億円)	【364億円増】
【364億円増】			
		<b>事業費</b> 25,300億円 (24,913億円)	【387億円増】

※ ( ) 書きは前年度の金額。

※ 文部科学省作成の資料より

# 客観的な共通指標による再配分の仕組み (2019年度～)

## 基幹経費

### 配分指標

- 会計マネジメント改革状況
- 教員一人当たり外部資金獲得実績
  - (i) 共同研究等の研究教育資金
  - (ii) 寄付金等の経営資金
- 若手研究者比率
- 運営費交付金等コスト当たりTOP10%論文数 (重点支援③) (試行)
- 人事給与・施設マネジメント改革状況 (業績評価、年俸制、多様な人材の確保 (外国人教員、女性教員) 等の実施状況)

※ 3分類毎に評価 (①: 地域貢献等、②: 専門分野等、③: 世界・卓越等)

成果を中心とする  
実績状況に  
基づく配分

変動幅90%~110%  
(激変緩和)

約700億円

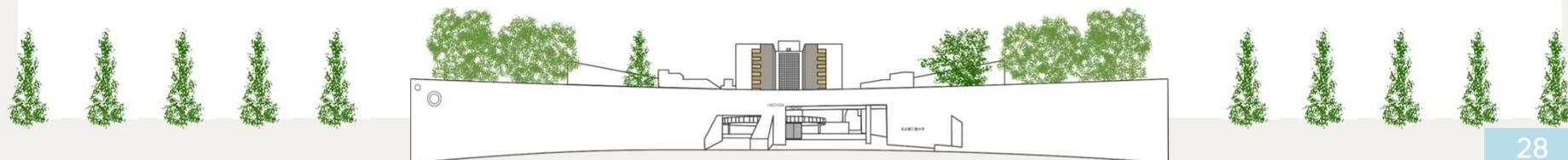
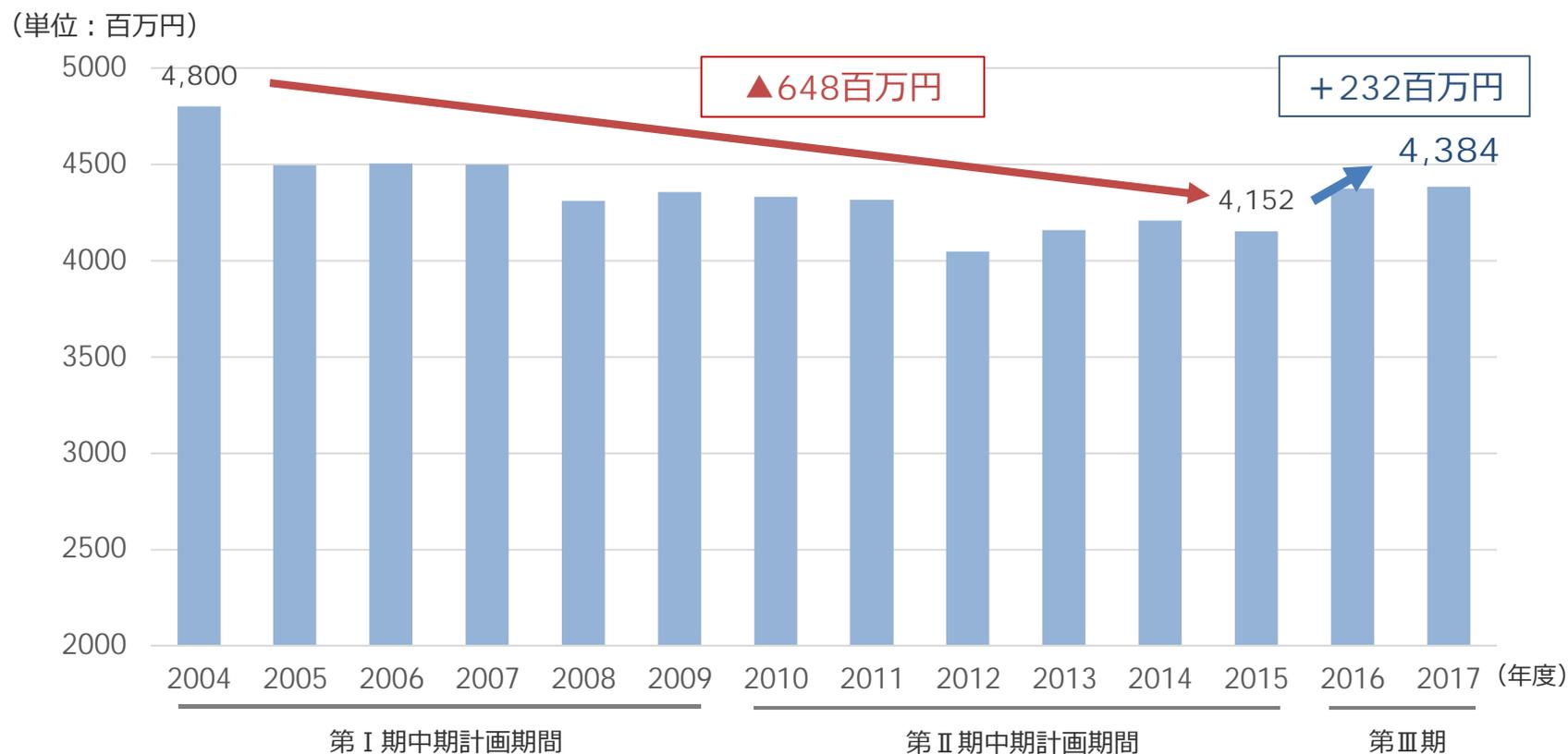
(2020年度以降、配分割合  
・変動幅を順次拡大)

機能強化経費の  
基幹経費化分  
約300億円以内



# 名古屋工業大学 運営費交付金交付額の推移

※ 退職手当等の特殊要因経費を除く。





# 2017事業年度 名古屋工業大学予算の概要

(単位:百万円)

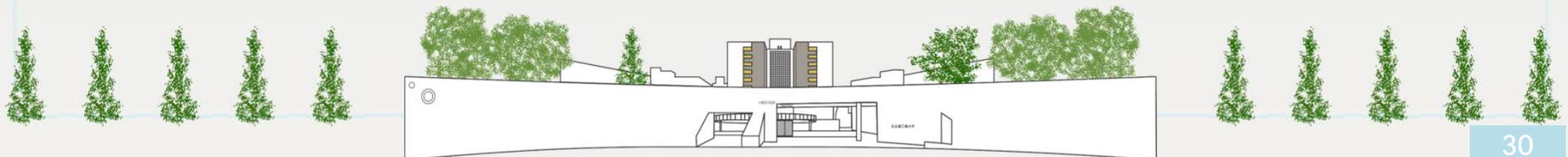
収 入				支 出				備 考
区 分	28'予算額	29'予算額	差引増減	区 分	28'予算額	29'予算額	差引増減	
〔基幹運営費交付金算定の部〕				〔基幹運営費交付金算定の部〕				
1. 基幹運営費交付金	4,374	4,384	10	1. 教育研究等基幹経費	4,084	4,084	0	
				(1) 学部・大学院教育研究経費	3,893	3,893	0	
				(2) 学長裁量経費	190	190	0	
2. 基幹運営費交付金対象収入	3,731	3,810	79	2. その他教育研究経費	3,674	3,887	213	
(1) 基準学生納付金収入	3,094	3,098	3	(1) 機能強化促進係数対象経費	3,419	3,388	▲ 31	
(2) その他収入	637	712	76	① 規定分	3,117	3,089	▲ 28	機能強化促進係数影響額 ▲28百万円
				② 教育等施設基盤経費	302	299	▲ 3	
				(2) 政策課題等対応経費	255	493	238	
				① 授業料免除実施経費	255	255	0	
				② 電子ジャーナル整備経費	-	3	3	
				③ 基幹経費化分	-	234	234	
				(3) 教育研究組織調整額	-	4	4	
				(4) 教育等施設基盤調整額	-	3	3	
(調整額【再掲】)	-	76	76	3. 機能強化経費	348	148	▲ 200	基幹経費化に伴う減 ▲234百万円
				(調整額)	-	76	76	その他収入増見合分
〔特殊要因運営費交付金算定の部〕				〔特殊要因運営費交付金算定の部〕				
3. 特殊要因運営費交付金	276	488	212	4. 特殊要因経費	276	488	212	退職手当 337百万円 PCB廃棄物処理費 149百万円
運営費交付金対象収入 計	8,381	8,682	301	運営費交付金対象支出 計	8,381	8,682	301	
うち 運営費交付金	4,650	4,872	222					

※百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。



# 2017事業年度業務・決算報告

## 3. 財務状況



## 2017事業年度 損益計算書の概要（1）

（2017年4月1日 ～ 2018年3月31日）

（単位：百万円）

区 分	金 額
費用の部	11,490
【経常費用】	11,482
教育経費	1,067
研究経費	1,613
教育研究支援経費	392
受託研究費等	1,239
人件費	6,417
一般管理費・財務費用	755
【臨時損失】	8
<b>費用合計</b>	<b>11,490</b>

### <教育経費>

国立大学法人等の業務として学生等に対して行われる教育に要する費用

### <研究経費>

国立大学法人等の業務として行われる研究に要する費用

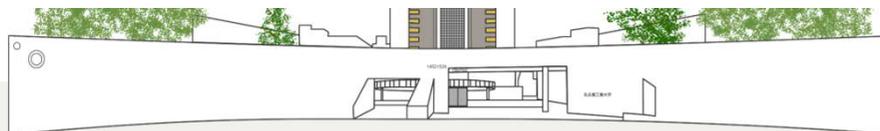
### <教育研究支援経費>

附属図書館や情報基盤センター等のように教育・研究の双方を支援し、学生及び教員の双方が利用するものの運営に要する費用

### <受託研究費等>

国や民間等からの受託研究や共同研究に要する費用

※ 金額は百万円未満を四捨五入しているため、計が合わないことがあります。以下、同じ。



## 2017事業年度 損益計算書の概要（2）

(2017年4月1日 ~ 2018年3月31日)

(単位：百万円)

区 分	金 額
収益の部	11,573
【経常収益】	11,565
運営費交付金収益	4,875
学生納付金収益	3,462
受託研究等収益	1,475
寄附金等収益	293
補助金等収益	182
雑益	369
その他	909
【臨時利益】	8
【目的積立金取崩額】	-
<b>当期総利益</b>	<b>83</b>

### <運営費交付金収益>

運営費交付金債務のうち、期間進行、業務達成、費用進行のいずれかの基準に応じて収益化したもの

### <学生納付金収益>

授業料債務を期間進行基準に応じて収益化したもの、入学料収益及び検定料収益

### <受託研究等収益>

国や民間等からの受託研究や共同研究に係る収益

### <寄附金・補助金等収益>

受け入れた寄附金・補助金等を、費用に充当した収益

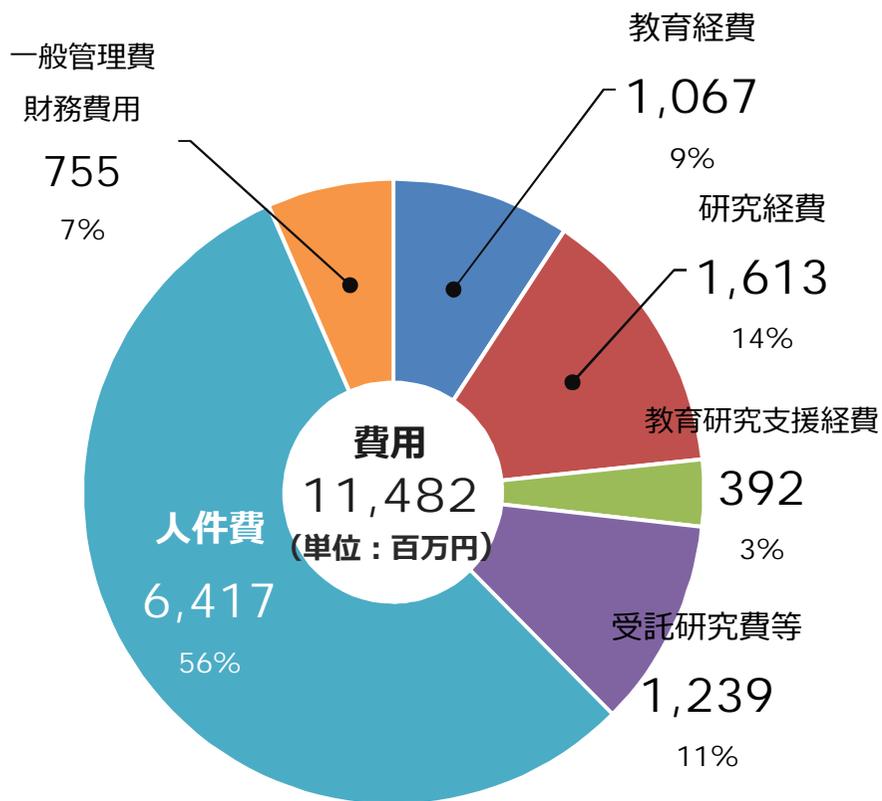
### <当期総利益>

大学の努力により発生した利益は、目的積立金として翌期以降に使用可能。国際交流会館の改修に充当予定。

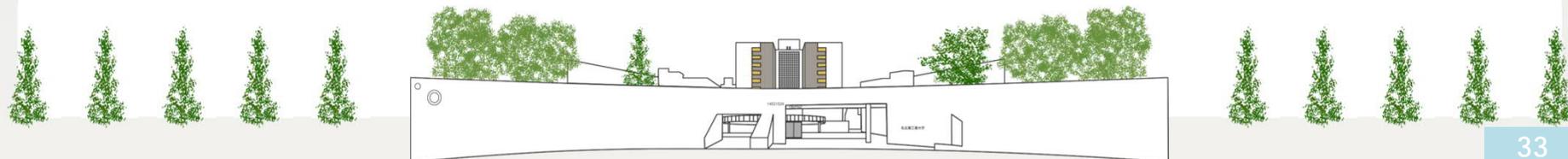
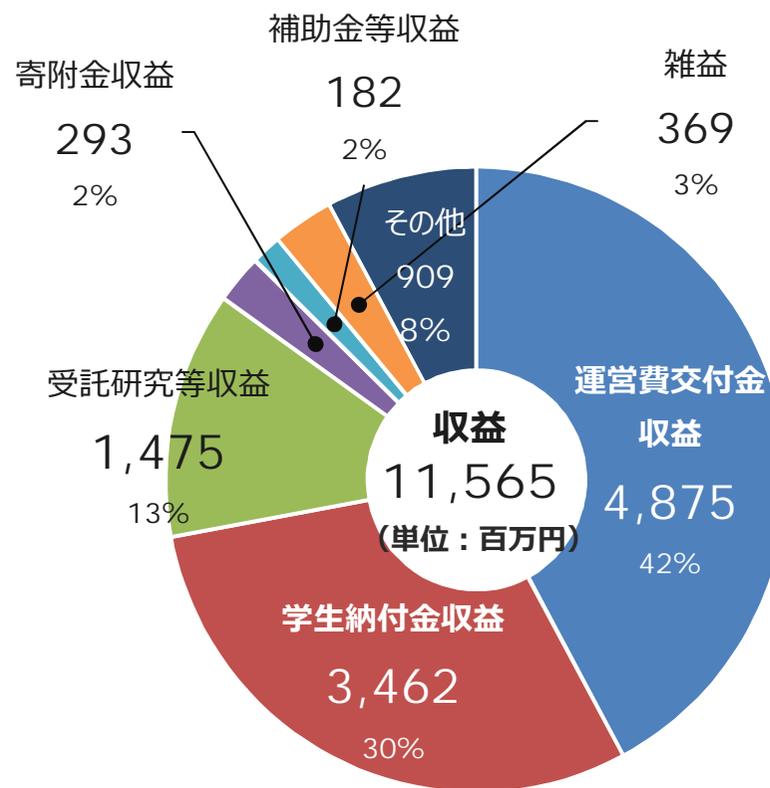


# 2017事業年度 損益計算書の概要 (3)

## 経常費用



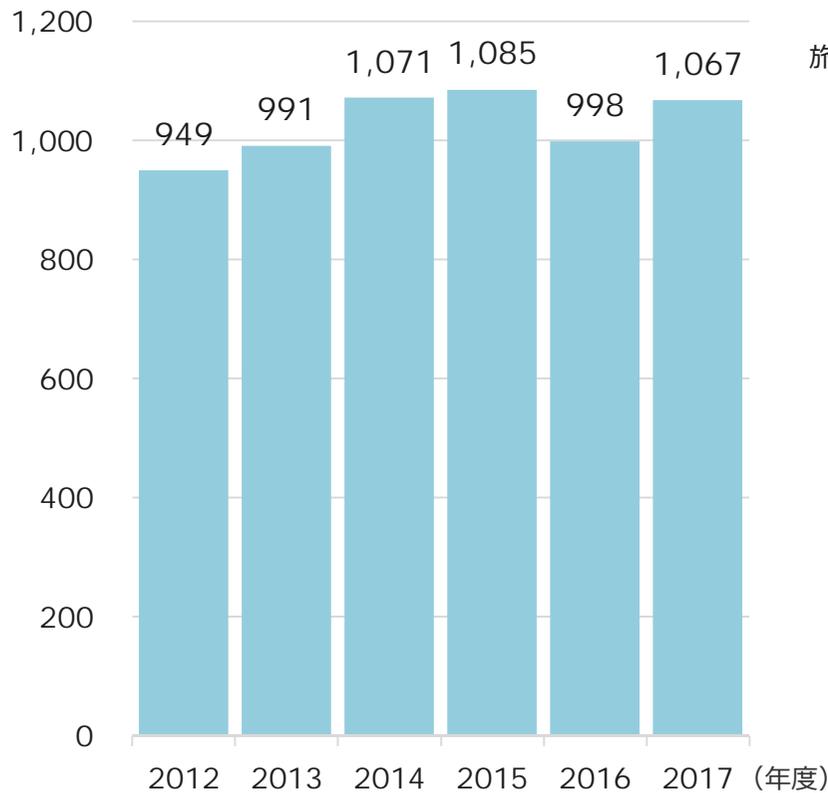
## 経常収益



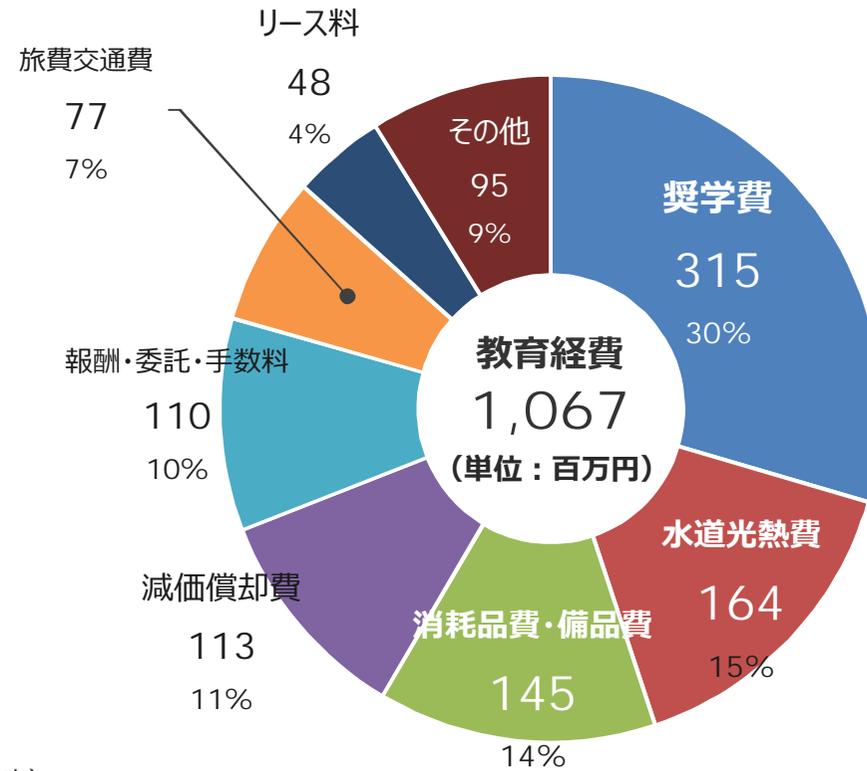
# 教育経費の詳細

## 教育経費の推移

(単位：百万円)



## 2017年度教育経費内訳

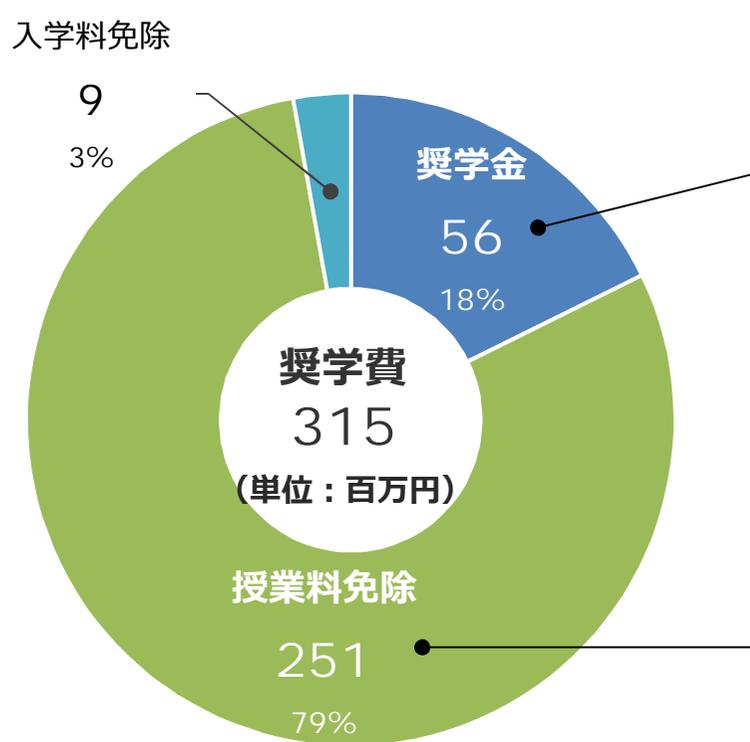




# 奨学費（１） —学生への経済的支援—

## 2017年度奨学費 内訳

(単位：百万円)



奨学金の内訳	金額
名古屋工業大学ホシザキ奨学金	27
名古屋工業大学基金 (国際化推進事業)	16
名古屋工業大学基金	13
<b>合計</b>	<b>56</b>

(単位：百万円)

授業料免除の内訳	金額	人数※
工学部 第Ⅰ部	139	265
工学部 第Ⅱ部	4	14
大学院 博士前期課程	92	177
大学院 博士後期課程	16	30
<b>合計</b>	<b>251</b>	<b>486</b>

※ 人数については、全額免除及び半額免除を含みます。また、前期免除者と後期免除者の平均人数としています。

## 奨学費（２） -名古屋工業大学ホシザキ奨学金-

- ・ 株式を寄附として受入れ、その配当金を原資に奨学金を運用する日本初の取り組み。  
（2016年度スタート。）
- ・ 2017年度は、学生12名（Ⅰ期生5名、Ⅱ期生7名）に対して総額27百万円を支援。

坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社（SDF社）

SDF社は公益法人等に対する寄附を事業としている。

SDF社株

\* SDF社発行の株式のうち一部を本学と名古屋大学へ寄附（議決権のある株式は含まれていない。）

名古屋大学

名古屋工業大学

配当金

SDF株

45,000株

名古屋工業大学ホシザキ奨学金

- ✓ 年間144万円（12万円×12月）の返還不要奨学金
- ✓ 将来ものづくりに携わりたいことを希望し、経済的に修学が困難な学生を支援
- ✓ 学修・研究に集中できるよう十分な金額を2年間継続給付



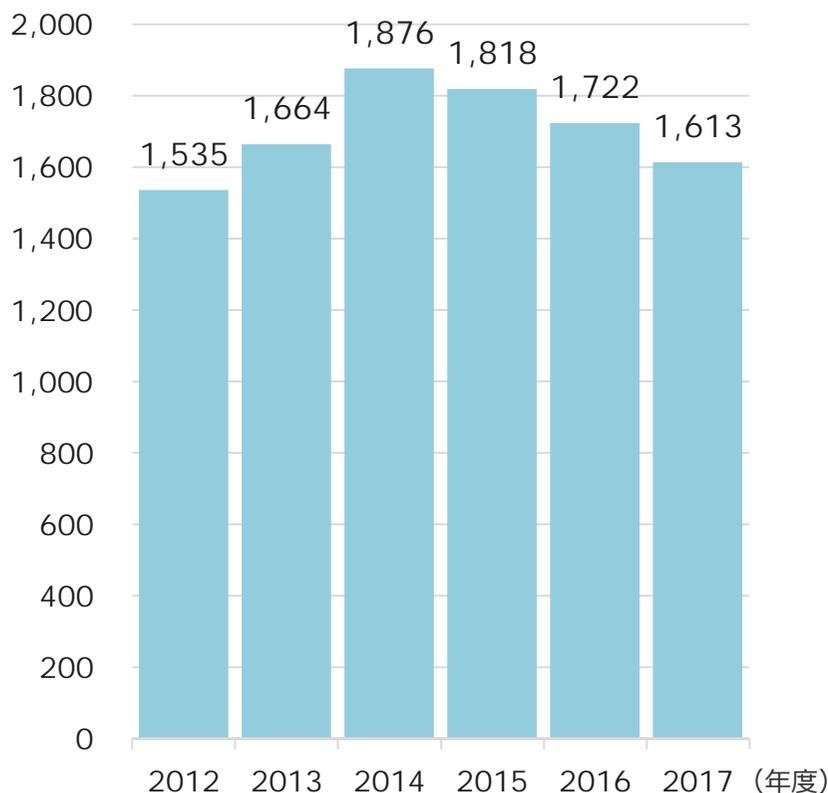
2017年度授与式



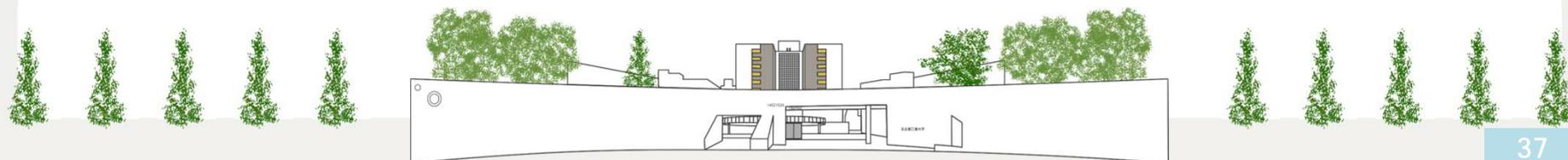
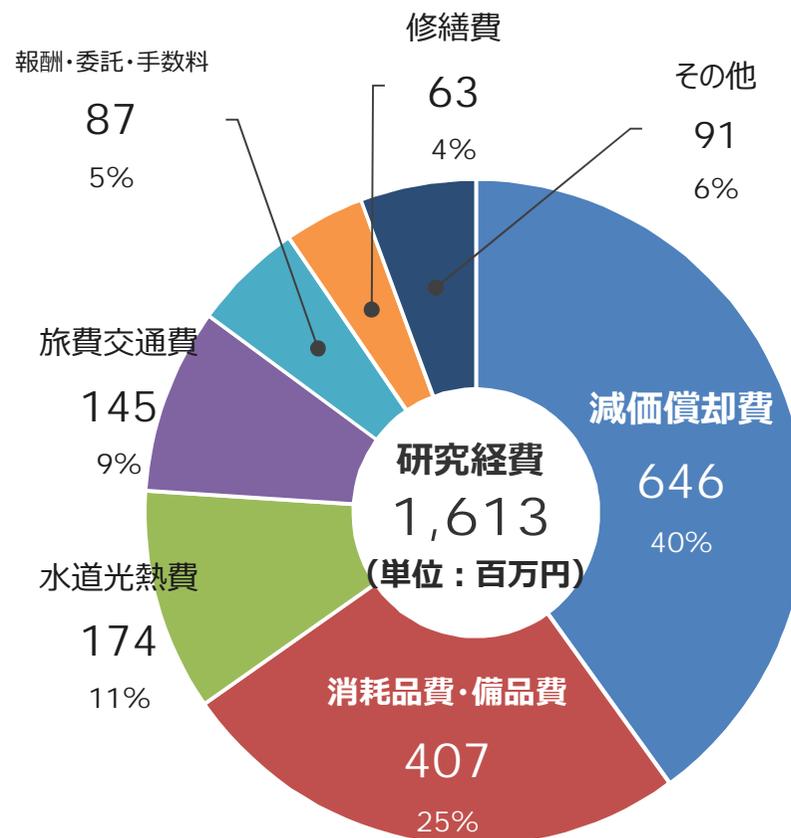
# 研究経費の詳細

## 研究経費 推移

(単位：百万円)

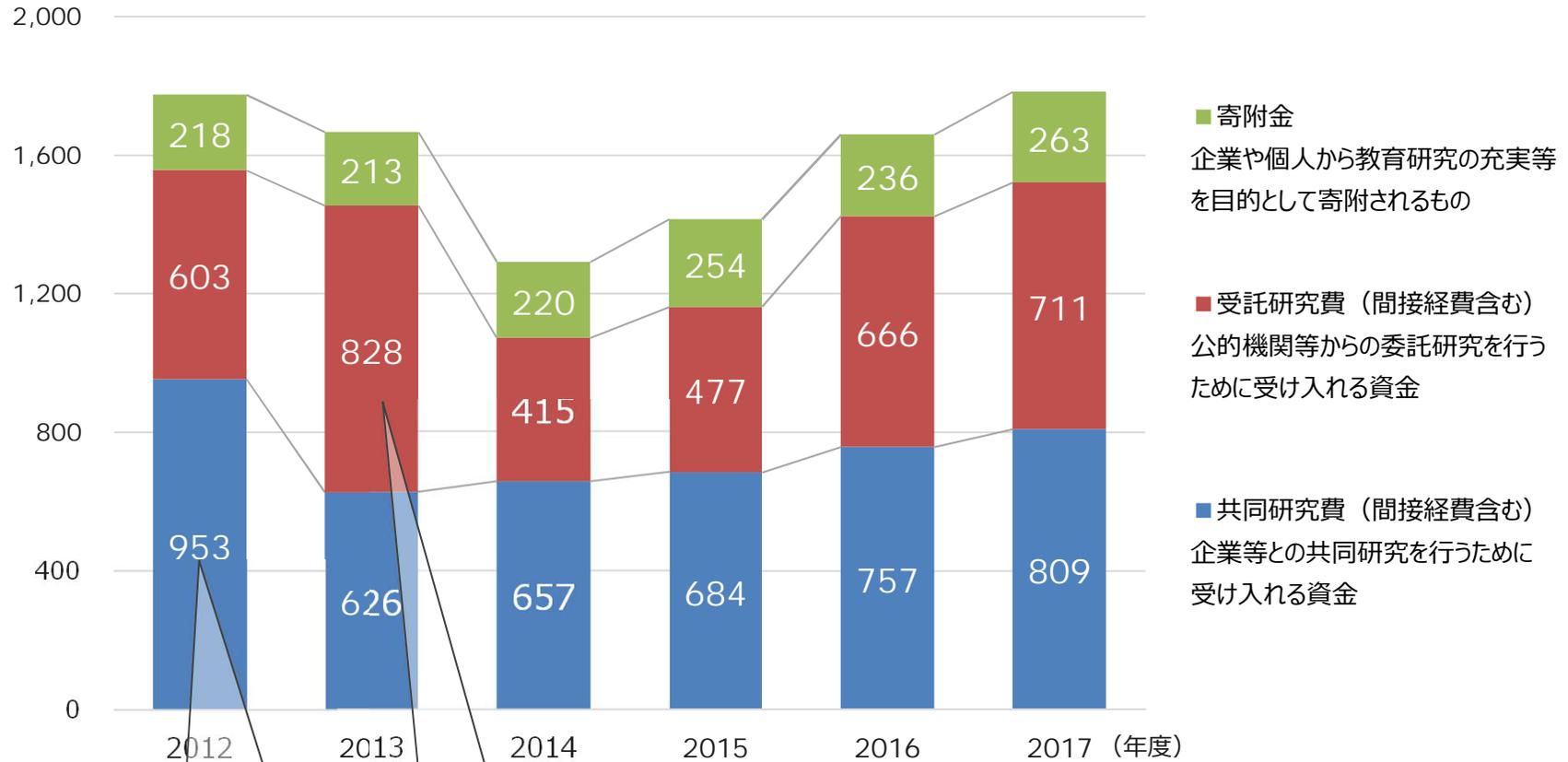


## 2017年度研究経費 内訳



## 外部資金の受入額 – 寄附金、受託研究費、共同研究費 –

(単位：百万円)

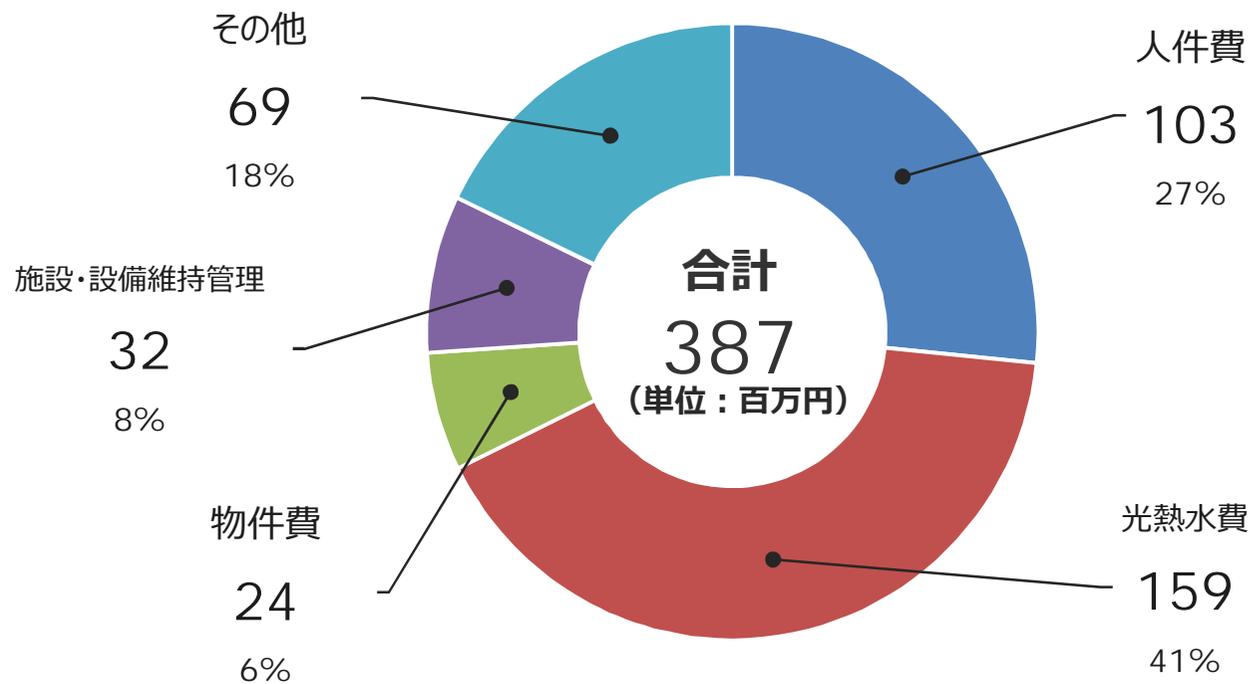


大型プロジェクト（窒化物半  
導体マルチビジネス創生セン  
ター）

補正予算による整備

## 間接経費の使途

- 大学の研究環境の改善・機能向上及び維持・管理に必要な経費として使用。

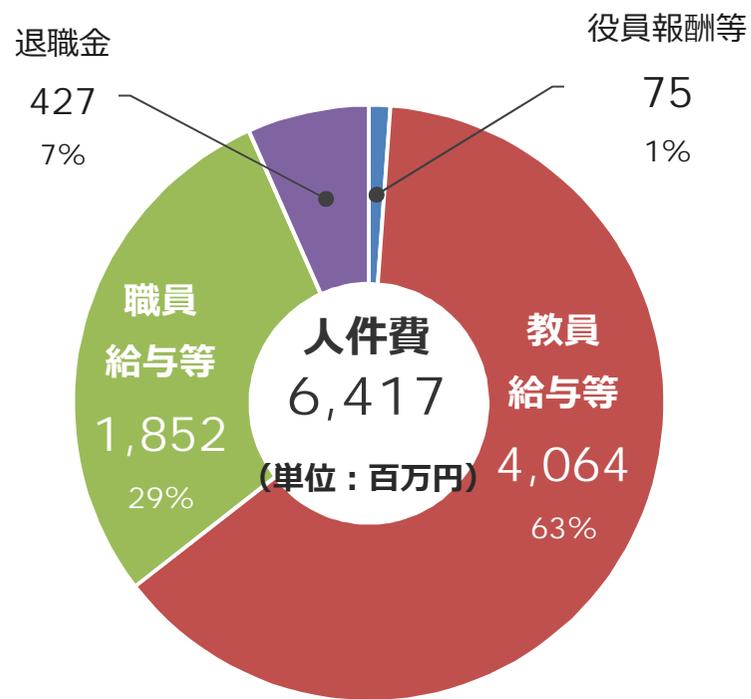
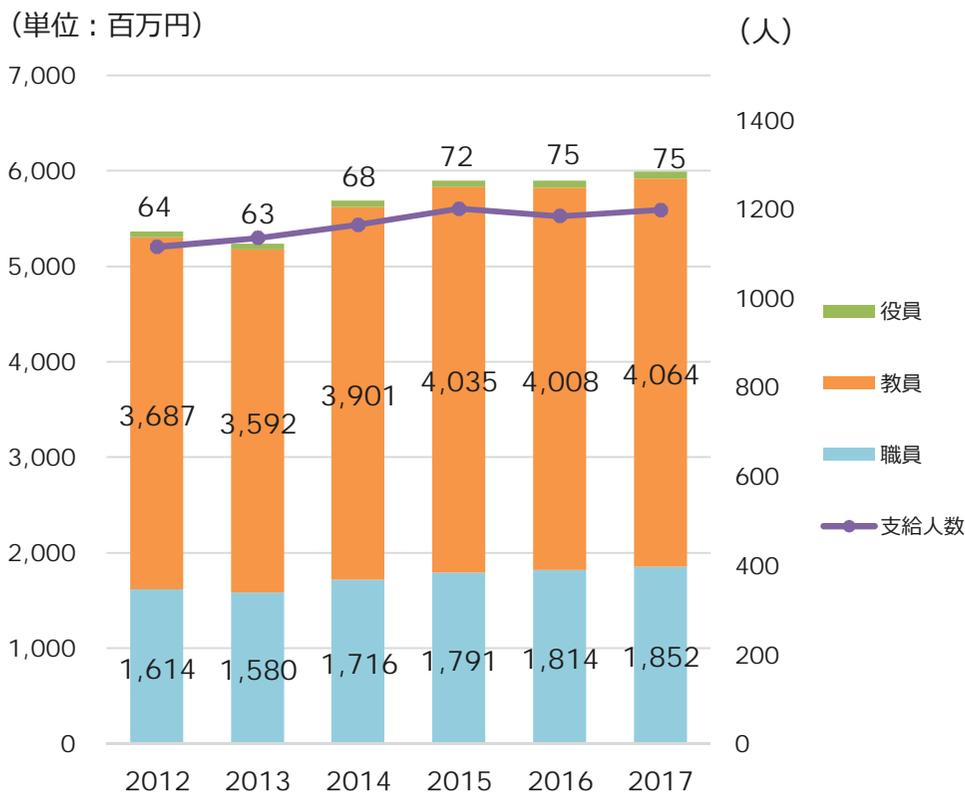


- 人件費 … 産学連携、知財管理のための職員等を雇用
- 物件費、施設・設備維持管理 … 大型共用設備の維持管理、大学の施設保全業務等
- その他 … 特許出願費用、その他産学連携推進のための費用等

# 人件費の詳細

## 報酬・給与等 推移 (退職金を含まない)

## 2017年度人件費 内訳



※ 支給人員については、年間平均支給人員数を記載しています。

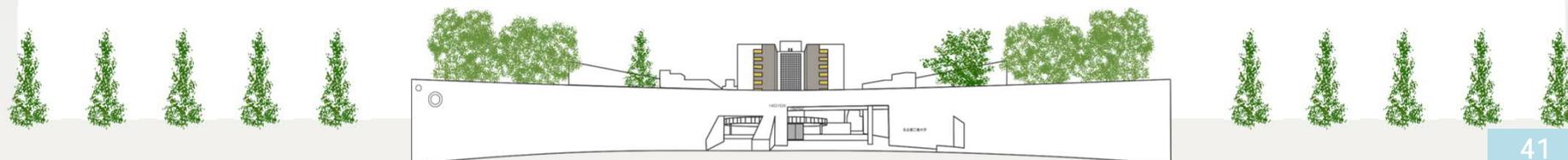


## 2017事業年度 貸借対照表の概要

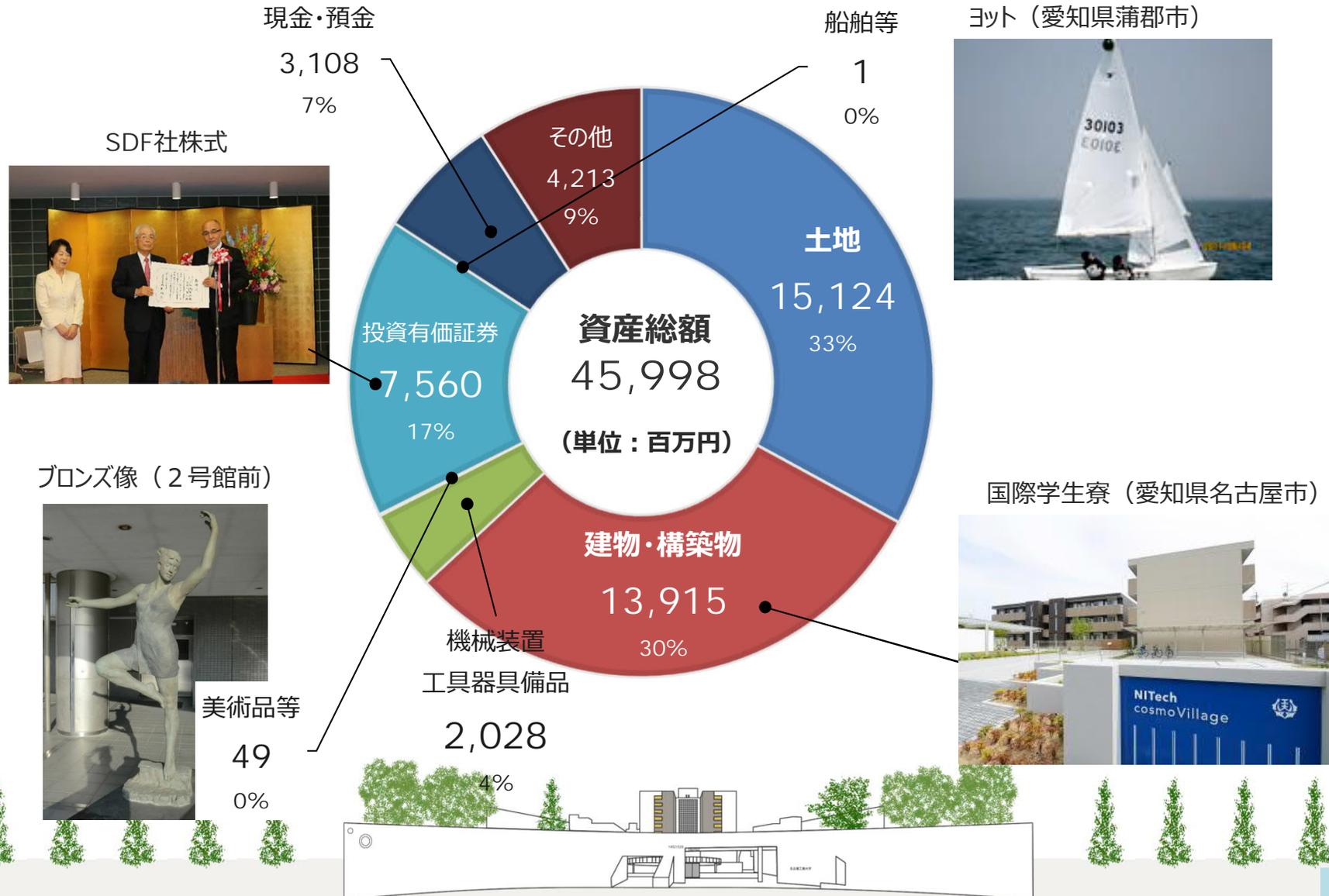
(2018年3月31日現在)

(単位：百万円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資産の部	45,998	負債の部	18,585
【固定資産】	42,571	未払金	1,043
土地	15,124	リース・PFI債務	867
建物・構築物	13,915	寄附金債務	9,245
機械装置・工具器具備品	2,028	前受受託研究費等	314
その他有形固定資産	3,890	資産見返負債	6,339
無形固定資産	55	その他の負債	776
投資有価証券	7,560	純資産の部	27,414
【流動資産】	3,427	資本金	28,577
現金及び預金	3,108	資本剰余金	△1,416
その他の流動資産	319	利益剰余金	253
<b>資 産 合 計</b>	<b>45,998</b>	<b>負債・純資産 合計</b>	<b>45,998</b>

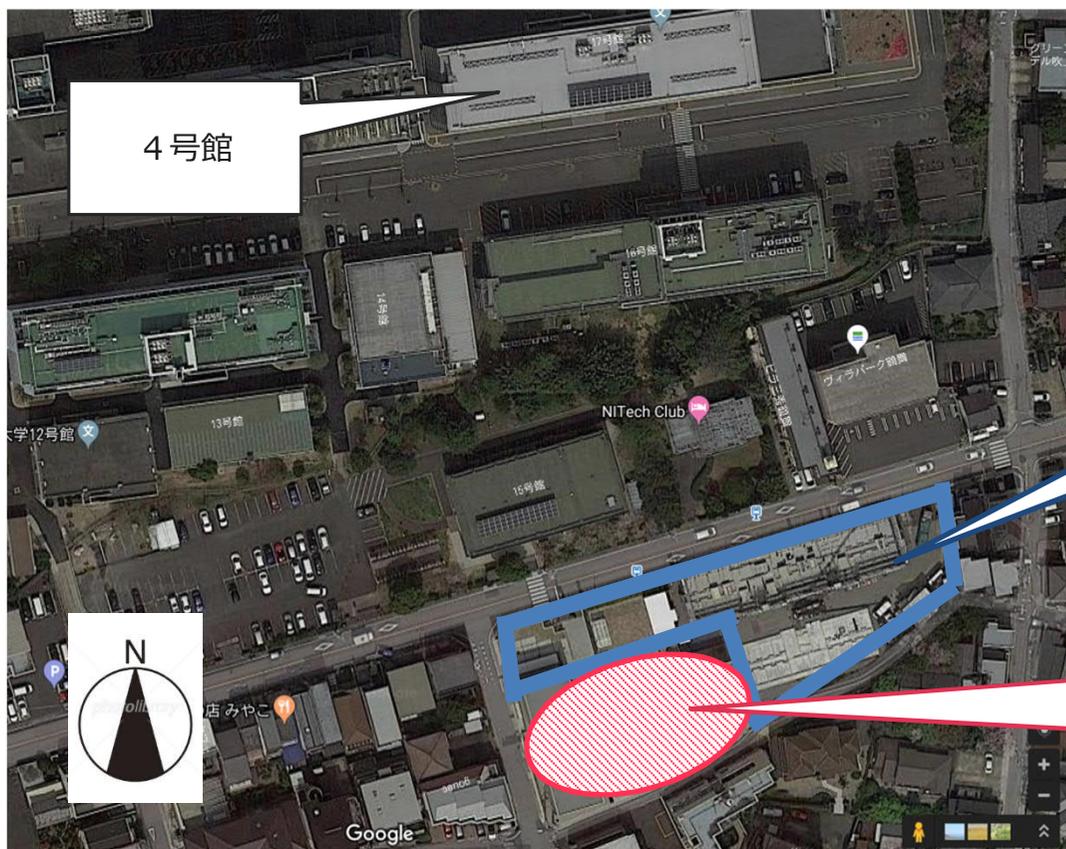


# 名古屋工業大学が保有する資産



## 土地の取得 – 国際学生寮「NI Tech Cosmo Village」の整備 –

- 隣接していた財務省所有の土地を、寄附金を原資に取得。（2016年度取得）
- 当該区画を国際交流推進の場「NI Tech Cosmo Village」として、一体的に整備。

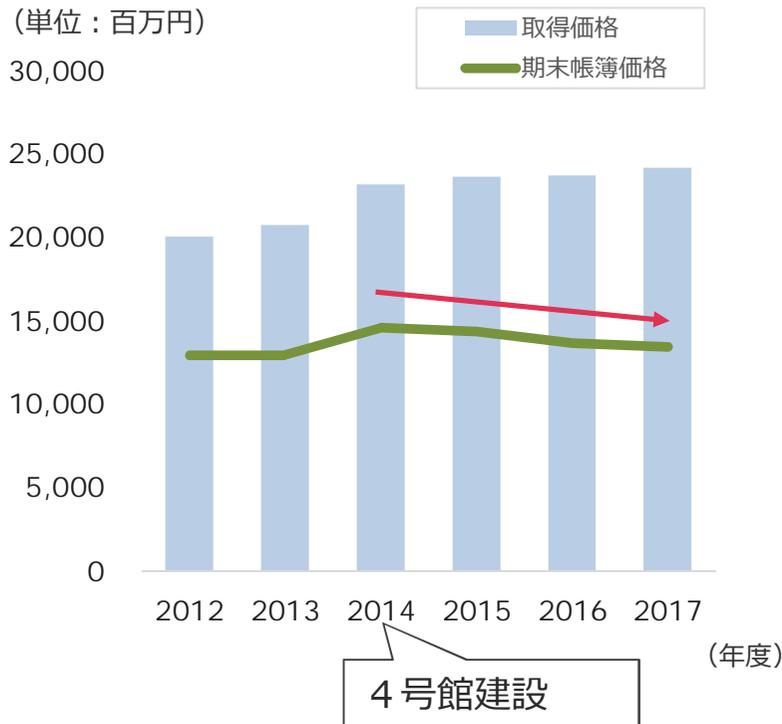


名工大所有の土地  
(職員宿舎跡地)

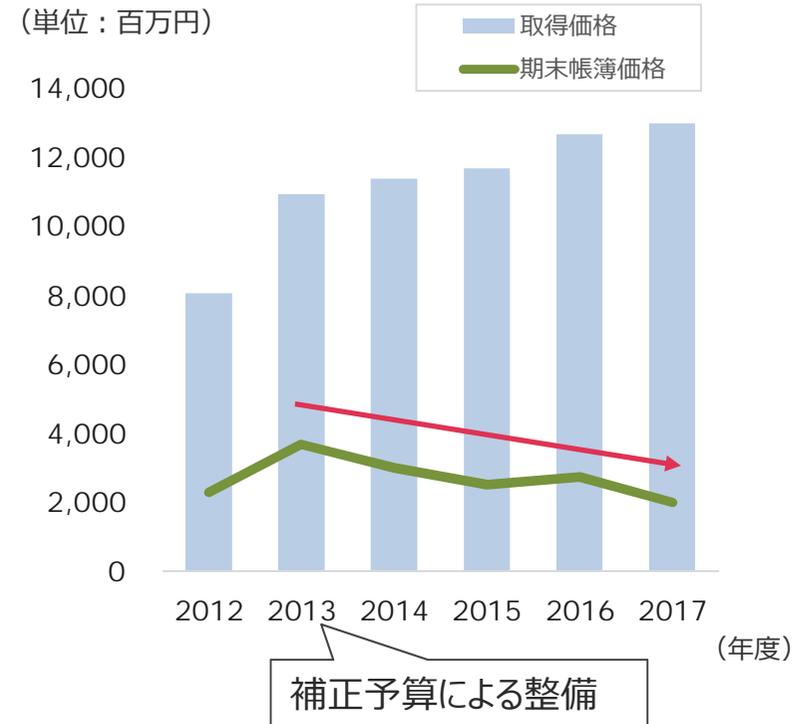
財務省所有の土地  
(職員宿舎跡地)  
寄附金で購入

## 有形固定資産の推移（1）

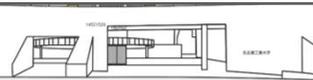
### 建 物



### 工具器具備品



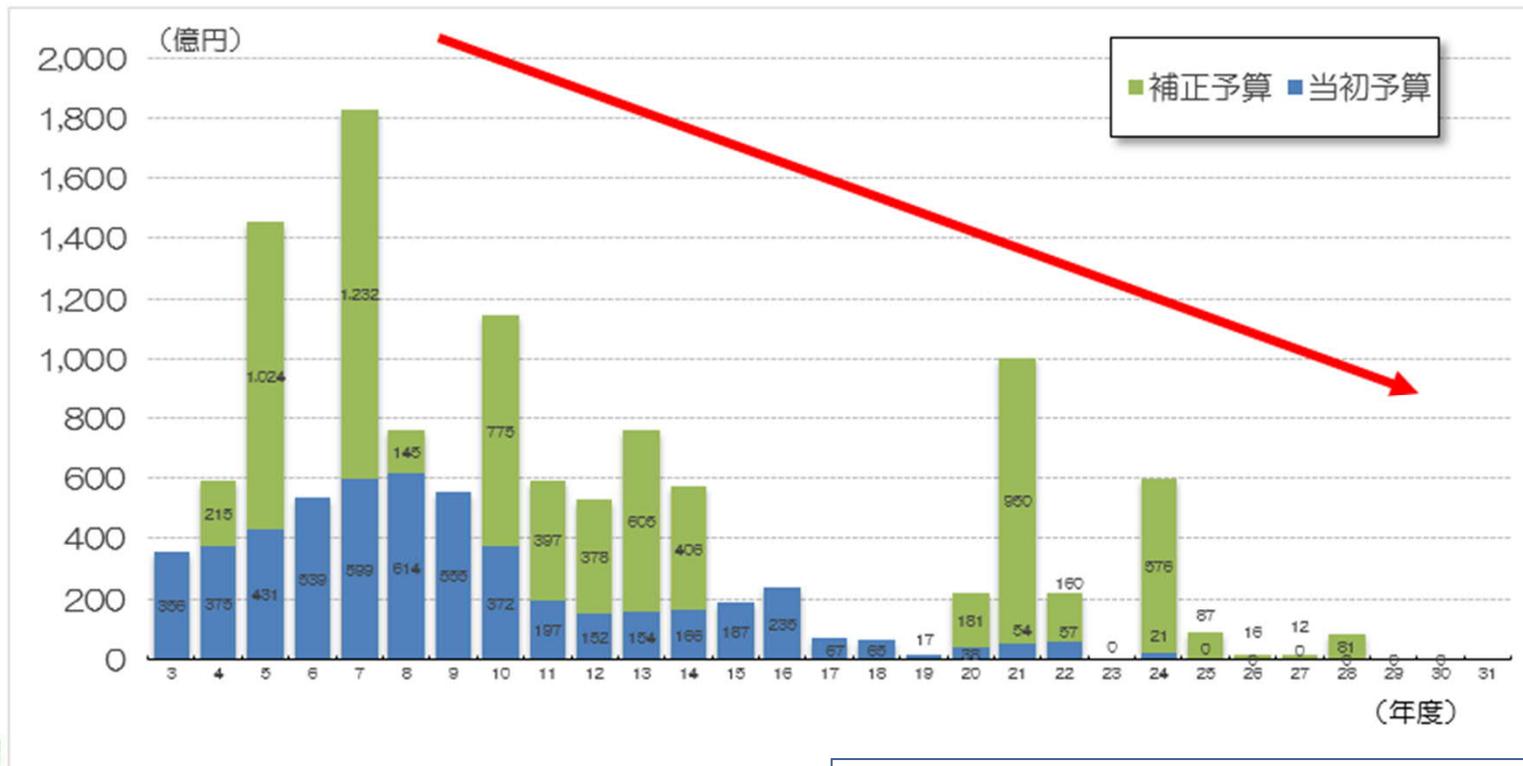
- 教育研究を使命とする大学にとって、有形固定資産（土地、建物や工具器具備品など）は活動の基盤。
- 近年は有形固定資産の帳簿価格(価値)が減少傾向 → 施設・設備の老朽化が進行中。
- 財源が不足する中、既存施設・設備の更新等がなされていない。



## 有形固定資産の推移（２）

- ・ 国の予算は極めて厳しい状況。
- ・ 教育・研究活動の基盤である施設・設備の、計画的な更新が課題。

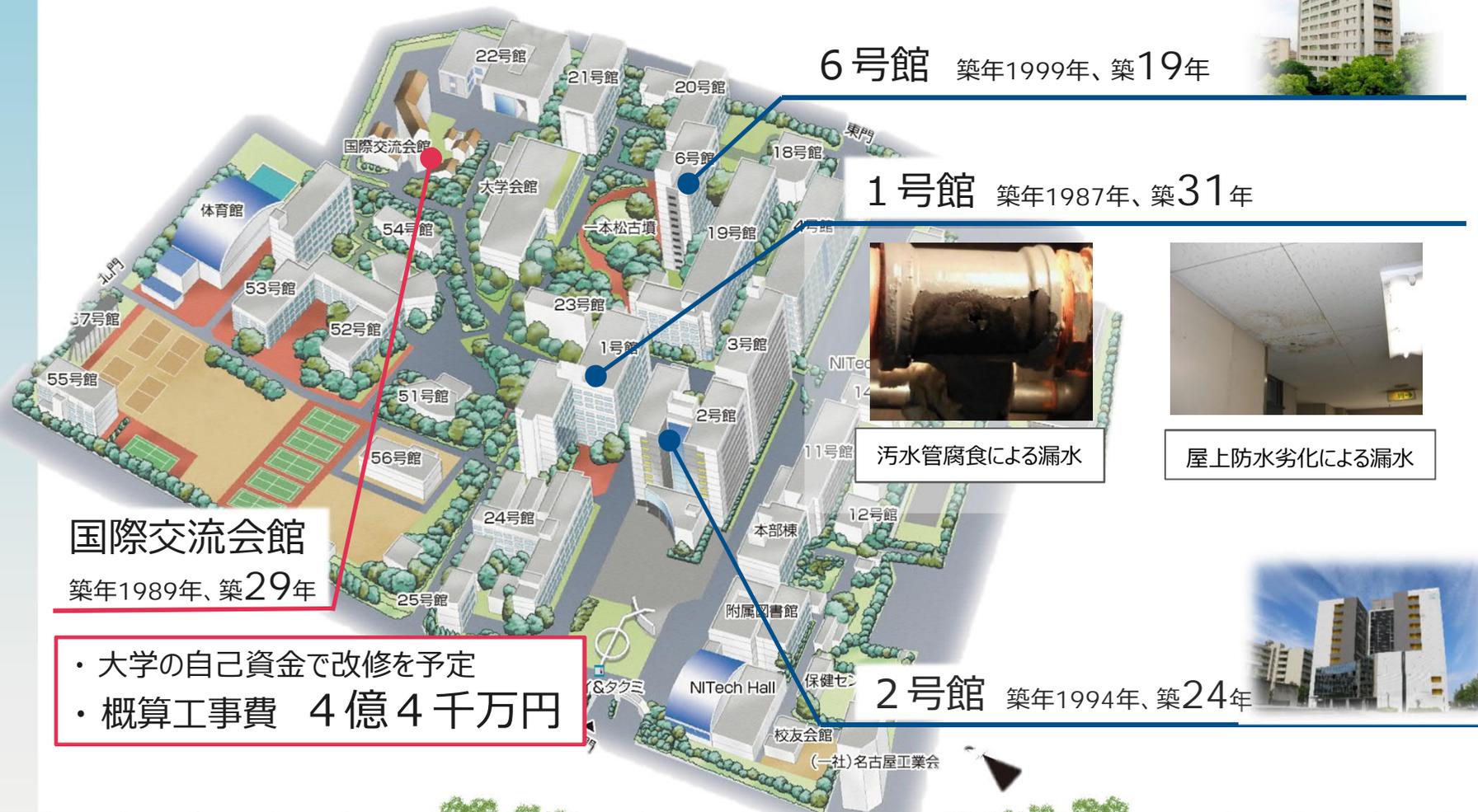
<国立大学等の教育研究設備整備予算額の推移>



※ 文部科学省作成「挑戦する国立大学」より引用



# 施設の老朽化



6号館 築年1999年、築19年



1号館 築年1987年、築31年



汚水管腐食による漏水



屋上防水劣化による漏水

国際交流会館

築年1989年、築29年

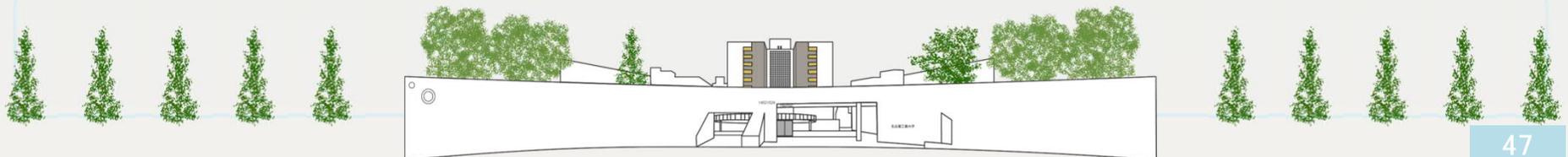
- ・大学の自己資金で改修を予定
- ・概算工事費 4億4千万円

2号館 築年1994年、築24年





# 最後に・・・



## 大学基金事業へのお願い

### 京セラ株 母校・鹿児島大に寄付 稲盛氏、80億円相当

2017/11/17 18:22

[保存](#) [共有](#) [印刷](#) [ツイート](#) [シェア](#) [その他](#)

京セラ創業者の稲盛和夫氏が母校の鹿児島大学に同社の株式100万株を寄付することになった。稲盛氏の個人資産の一部で、同大学で開いた式典で前田芳貴学長が目録を受け取った。同社の株価（17日終値）で計算すると、時価で約80億円に相当する。

同大学は「鹿児島大学稲盛和夫基金（仮称）」を新設し、株式の配当金収益を教育・研究の充実・発展に役立てる方針。2018年3月期の同社の1株あたり年間配当金は120円の予想だ。

稲盛氏は鹿児島市生まれで、1955年に同大学工学部を卒業。99年には同大学初の名誉博士号を授与された。これまでも合計で約21億円を同大学に寄付している。



京セラ株を寄付する稲盛氏(左)と目録を受け取った前田学長(鹿児島市)

[画像の拡大](#)

### ぐるなび会長、50億円の個人寄付 東工大など3校に

[ツイート](#) [シェア 109](#) [LINEで送る](#)

(2018/3/1 05:00)



寄付により建設される東工大の建物内観イメージ (隈研吾建築都市設計事務所提供)

ぐるなび創業者で会長・最高経営責任者（CEO）の滝久雄氏は、東京工業大学、お茶の水女子大学、東京芸術大学の3校に計50億円の寄付を行った。いずれも留学生と日本人学生の国際交流の建物建設に向けたもので、建築家の隈研吾氏が設計し、館内にはアート作品を展示する。寄付を通して自身の思いを実現する上で、出身校を重視しつつ他大学も後押しする点が注目される。

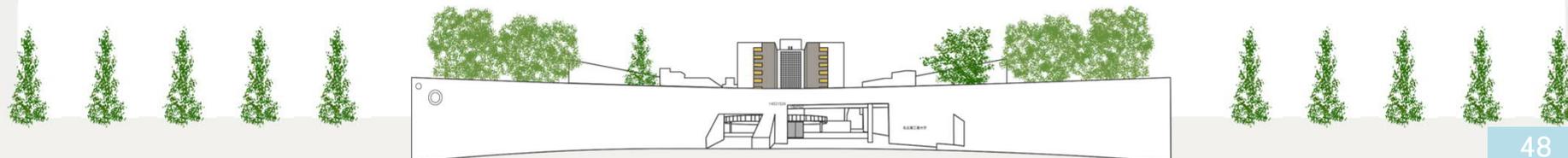
滝会長の母校である東工大では、滝夫妻の個人寄付30億円で全建設費をまかなう。同大の提案により、建物名は夫妻の名を冠した「Hisao&Hiroko Taki Plaza」となる。

2017/11/17 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO23617960X11C17A1LX0000/>

2018/3/1 日刊工業新聞

<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00463842>





# 大学基金事業へのお願い

- ✓ 学生への支援
- ✓ 教育研究設備の拡充
- ✓ 国際交流の推進
- ✓ 研究活動支援

## ひとづくり未来基金 (修学支援基金)

経済的な理由により、修学が困難な学生を支援する基金です。2016年（平成28年）に導入された**税額控除制度の対象**となります。

検索

[名工大基金](#)



交通アクセス ・ サイトマップ  
文字サイズ変更 **大** 中 小  **SEARCH**



- コンテンツ
- ▶ [名古屋工業大学基金トップ](#)
  - ▶ [基金の使途](#)
  - ▶ [支援を受けた学生からのメッセージ](#)
  - ▶ [寄附の申込み](#)
  - ▶ [税制上の優遇措置](#)
  - ▶ [基金の管理運営](#)
  - ▶ [寄附者のご芳名](#)
- [名古屋工業大学基金へのお問い合わせはこちら](#)

名古屋工業大学では、企業・団体や個人の皆様から教育研究環境の整備充実を目的とする寄附をお願いしております。

### 名古屋工業大学基金の概要

名古屋工業大学では、教育研究環境の設備充実を目的とする寄附をお願いしております。今年度より課外活動を指定して寄附いただけるようになりました。現在、ロボコン、人力飛行機研究会NIEwsへの寄附を募集しております。





# 質疑応答

